

笠間市 市勢要覧 2008

真のニッポンに出逢うまち—笠間

the  
Real  
Japan  
KASAMA

リアル・ジャパン 笠間

## 発刊にあたって



笠間市長 山口 伸樹

笠間市は、平成18年3月19日に、笠間市、友部町、岩間町の一市二町が合併して誕生しました。

合併後は、三市町がそれぞれ培ってきた地域の特性を生かし、合併の効果を発揮できるよう、また、新市の均衡ある発展や一体感の醸成に努めてまいりました。

合併3年目となる平成20年度は、行財政改革の断行、指定管理者制度の導入・拡大等を図り、効果的・効率的な行政サービスに向けた施策の整備に取り組んでまいります。

そして、市の上位計画である笠間市総合計画では、「にぎわいの創造」、「やさしさの創造」、「ふれあいの創造」の三つの基本方針の下、将来像を「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間 ～みんなで創る文化交流都市～」としており、この実現に向けて、市民との連携・協働によるまちづくり施策を展開してまいりたいと考えております。

本州市勢要覧では、わがまち笠間の悠久の歴史・文化、そして未来のビジョンについて紹介しています。笠間市の魅力を一人でも多くの方にご理解いただき、また、今後のまちづくりに皆様方のお力添えを賜りたいと存じます。

平成20年4月

The current city of Kasama was born from a union of the former Kasama City and its two neighboring towns, Tomobe and Iwama on March 19, 2006. Following this merger on equal terms, we have sought to use the unique characteristics of each local area to fully realize the advantages brought forth from merging the three locations. This was part of an overall effort by the city to achieve balanced growth while generating a sense of civic identity among residents.

As we enter the third year under the auspices of the new city, we plan on implementing financial and administrative reforms, introduce and expand a designated administrator system, and create policies aimed at achieving more efficient and effective government services.

The city's comprehensive plan—part of the city's upper level plan—is based on three basic principles of “generating dynamism,” “generating fair life,” and “fostering interaction,” in creating a future vision of Kasama that is comfortable to live in and great to visit as a city of cultural exchange. In looking to implement these plans, the city administration believes it important to work together with residents to develop the city further.

This introduction to Kasama is intended to introduce our city's deep-rooted history and culture, and offer a future vision for its ongoing development. We hope that this can inspire all of our readers and we ask that you join us as we work to create a better Kasama.

Sinjyu Yamaguchi, Mayor of the city of Kasama  
April 2008

## 笠間市民憲章

わたしたち笠間市民のねがい

(平成19年1月1日制定)

笠間市は、豊かな自然に恵まれ、先人たちが育んできた歴史や文化の薫るまちです。わたしたちは、このふるさとを愛し、市民相互の交流につとめ、「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」をめざします。

- ・自然を愛し、美しくゆめのあるまちにしよう
- ・健康で働き、元気でいきがいのあるまちにしよう
- ・歴史と文化を大切にし、豊かでうるおいのあるまちにしよう
- ・思いやりの心を育て、明るいほほえみのあるまちにしよう
- ・きまりを守り、安心してやすらぎのあるまちにしよう

### ■市章

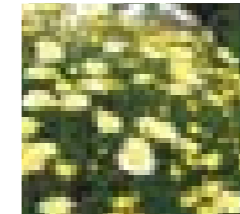


3市町の合併を意味する強い団結の輪で、笠間市の頭文字「K」を表現。人も緑も水もいきいきと輝く姿や、また列車や自動車道等の交通の要衝としての利便性も表し、住みよいまち、訪れてよいまち、笠間市をイメージしました。

The new city's symbol expresses the strong sense of solidarity between all three regions of the city and displays the initial "K" of Kasama. The colors are indicative of the city's active population, surrounded by nature and water, and also reflect its convenient location accessible by road and rail, and is indicative of a city that is suitable for modern-day living as well as being a leading tourist destination.

### ■笠間市の花・木・鳥

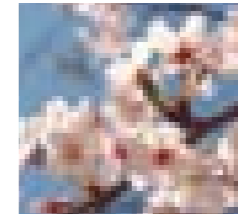
(平成19年1月1日制定)



市の花「きく」

City floral emblem :  
Chrysanthemum

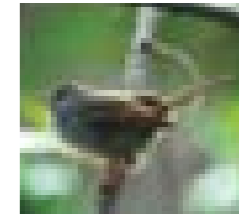
笠間市は、菊まつりや菊人形が有名で伝統があります。一方、市内では農業生産としての菊の栽培が盛んに行われています。また、きくは、旧笠間市と旧友部町の花であったことから、市民に親しまれている花といえます。これらのことから笠間市のシンボルとしてふさわしい花です。



市の木「さくら」

City arboreal emblem :  
Cherry tree

笠間市内には、愛宕山、北山公園、佐白山など、桜の名所が数多くあり、春には花が市内全域を網羅して咲き誇ることから、各所で桜まつりが行われています。また、さくらは、旧岩間町の木であったことから、市民にとって極めて身近な樹木といえます。このようなことから、笠間市のシンボルとしてふさわしい木です。



市の鳥「うぐいす」

City bird emblem :  
Japanese Bush warbler

笠間市全域に生息しているうぐいすは、鳴き声が美しく、春の訪れを感じさせてくれます。自然環境に恵まれた笠間市をイメージできます。また、うぐいすは、旧友部町の鳥であったことから、市民にとって身近で親しまれている鳥といえます。このようなことから、笠間市のシンボルとしてふさわしい鳥です。

### ■プロフィール

笠間市は、茨城県の中央部に位置し、都心から約100km、県都水戸市に隣接し、総面積は、240.25km<sup>2</sup>となります。区域は、東西約20km、南北約25kmで構成され、北西部は栃木県、西部は桜川市に、東部は水戸市、茨城町、南部は石岡市、小美玉市に隣接しています。地勢は、市の北西部は八溝山系が穏やかに連なる丘陵地帯で、南西部には愛宕山が位置し、北西部から東南部にかけて、概ね平坦な台地が広がり、本地域の中央を澗沼川が北西部から東部にかけて貫流しています。気候は、夏は気温も湿度も高く、冬は乾燥した晴天の日が多い、太平洋型の気候となっています。

The city of Kasama is located in central Ibaraki Prefecture, approximately 100 kilometers northeast of Tokyo and next door to the prefectural capital, Mito City. The city covers an area of 240.25 square kilometers, stretching 20 kilometers from east to west and 25 kilometers from north to south. The northwest corner of the city adjoins Tochigi Prefecture, with Sakuragawa City to the city's west, Ibaraki Town to the east, and the southern part of the city neighboring the cities of Ishioka and Omitama. Kasama City has a typical Pacific coast climate, experiencing hot and humid summers, contrasted by dry winters with clear skies the norm.



自然と人との営み。

季節を彩る  
田畑の作物は  
豊かな自然の恵み。  
川面を揺らす  
風に乗って  
鳥たちの  
さえずりが聞えてくる。

ニッポンの心の風景を巡るグラビア紀行  
the Real Japan  
KASAMA

脈々と生命を継承。

深い森の緑に  
たたくめば  
胸がすくような  
感慨にとられる。  
森林は私たちに  
生命の偉大さを  
教えてくれている。

賑わい潤う暮らし。

門前町の賑わいと  
歴史を重ねてきた  
文化の薫り。  
新しい時代の風を  
受けながらも  
この街は  
等間らしさを見失わない。

古 今 悠 々 笠 間



ニッポンの心の風景を巡るグラビア紀行  
 theRealJapan  
**KASAMA**

街

古き良き伝統が、新しさを育む。

日本三大稲荷のひとつ笠間稲荷神社の門前町として育まれてきた粋な文化は、今なお健在。市街のやきもの通りを中心に約130軒もの窯元が点在する陶芸の里としても、笠間の名は国内外に知られています。日本の伝統美と芸術性を兼ね備えたまちには、人々が訪れ、豊かな文化情報発信地としての新しい役割を担って発展しています。

Combining Nostalgic Traditions with a Modern Approach

Over the centuries, Kasama has developed as the temple town gateway to the Kasama Inari Shrine, one of Japan's big three Inari shrines. This was the basis for the development of the town's cultivated atmosphere, which is still visible today. The city is also well known as a center of regional ceramics, with over 130 stores and studios centered on the city's pottery district. These twin facts have ensured that Kasama has become a well-known name throughout Japan and further afield.

## 歴代領主たちが愛した、山城からの景観。

険しい石段を上ると、笠間城跡の石垣が残る佐白山頂。苔むした石の階段には、静寂さの中にも歴代領主の居城だった厳荘さが漂っています。笠間には、愛宕山など山々の豊かな緑や景観に憩う散策スポットが数多くあります。四季折々の雄大さと繊細な自然美を堪能しようとする人々のために、さまざまな施設も用意されています。

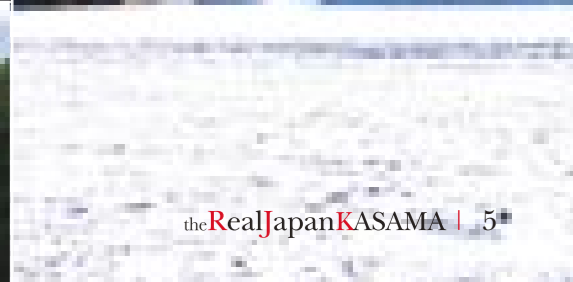
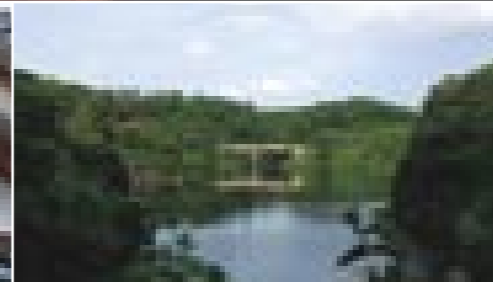
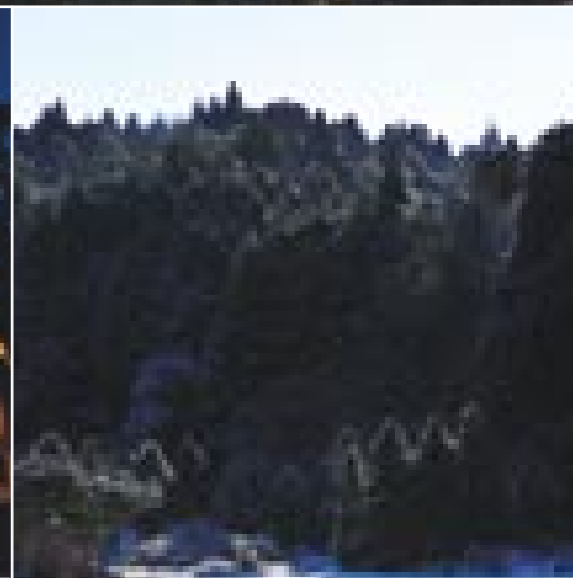
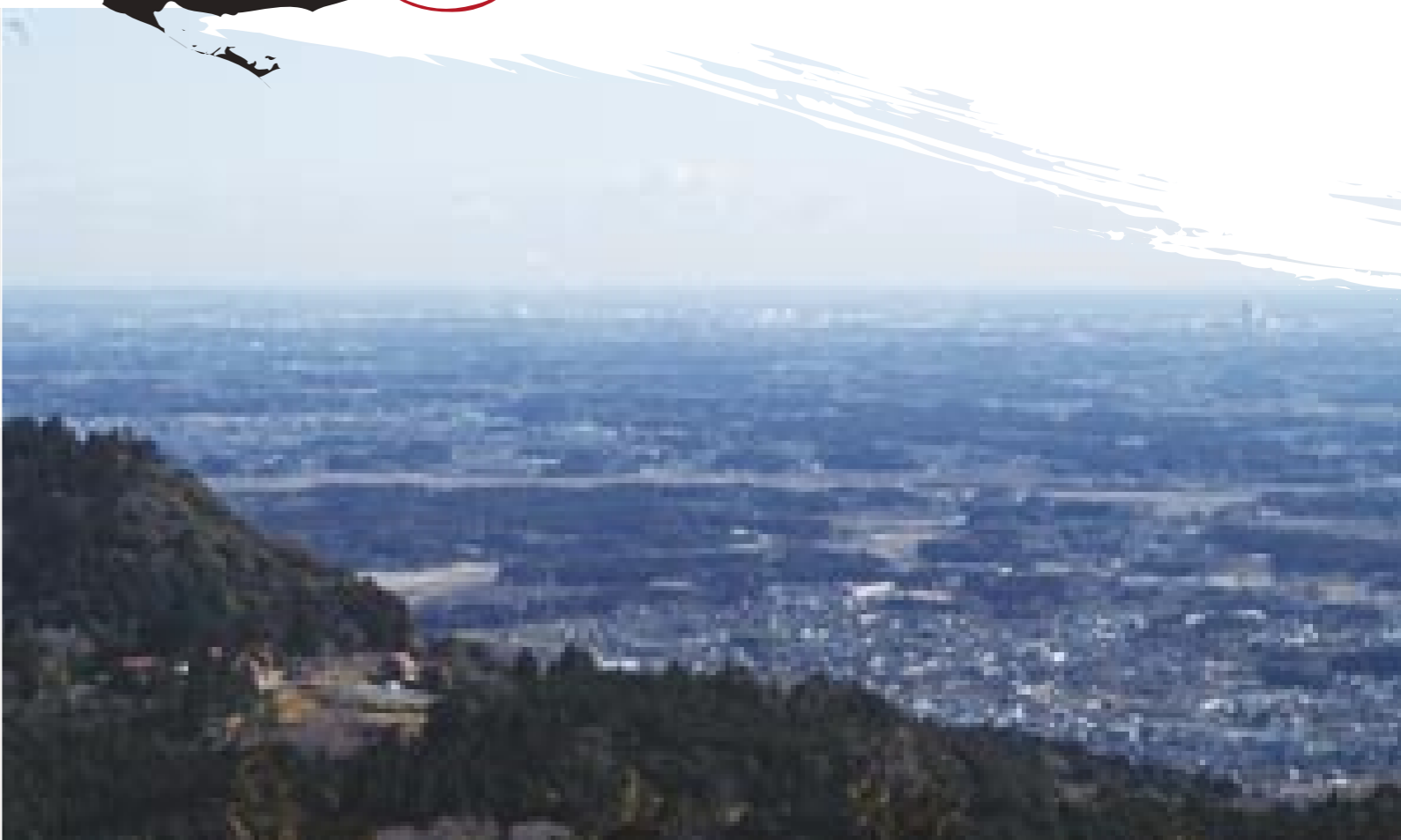
ニッポンの心の風景を巡るグラビア紀行

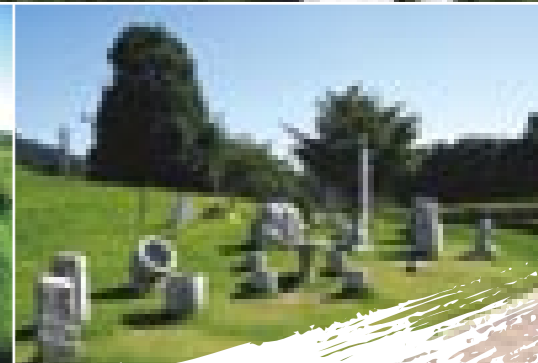
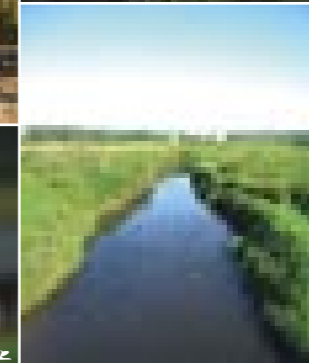
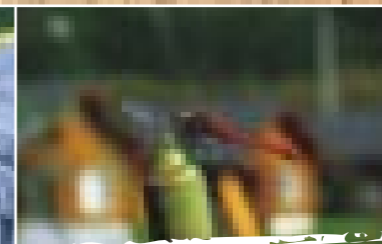
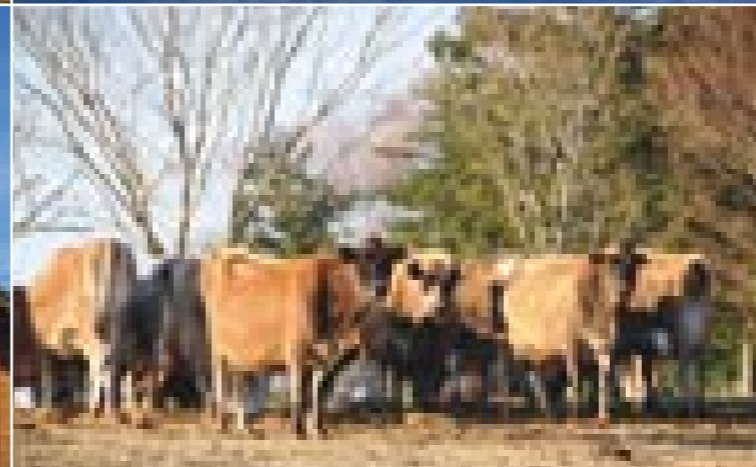
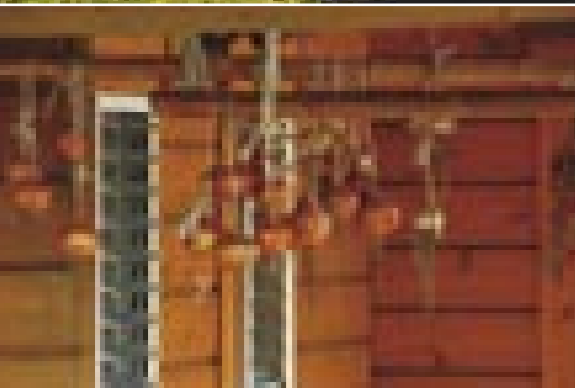
theRealJapan  
KASAMA



## A Noble View from a Mountaintop Castle

Climbing up the steep stone steps on the summit of Mount Sashiro leads to the remains of the walls of Kasama Castle. The moss-covered stone steps in today's tranquil surroundings still provide visitors with a sense of the martial home of the district's feudal leaders in centuries past. The city is surrounded by verdant mountains such as Mount Atago, offering superb views of the surrounding area and providing plenty of opportunities for residents and visitors alike to enjoy the natural beauty of the Kasama area.





実りをもたらしてくれる、豊かな故郷。

北西に八溝山系の丘陵、南西には愛宕山、北西から東南にかけては肥沃な台地が広がっている故郷・笠間。都心からわずか100キロメートルの距離にありながら、四季折々に表情を変える里山は、人々の暮らしにも心にも豊かな実りと恩恵を与えてくれます。自然と人の穏やかな営みが息づく故郷は、どの季節に訪れても美しい風景で人を迎えます。

ニッポンの心の風景を巡るグラビア紀行

theRealJapan  
KASAMA



A Fertile and Rich Hometown

Kasama is blessed in all directions with rich and fertile farmland. From the Yamizo mountain range in the northwest to Mount Atago in the southwest, taking in a broad fertile plain running from the northwest to southeast. While only 100 kilometers from Tokyo, the community remains in tune with nature, experiencing the unique pleasures of each season, which providing a rich and fertile environment for the region's land and residents' lives.

# 笠間市市勢要覧 2008

the  
Real  
Japan  
KASAMA

リアル・ジャパン 笠間

- 巻頭グラビア
- 1 古今悠々 笠間  
KOKONYUYU KASAMA
- the Real Japan KASAMA
- 9 市民がつくる誇り高きまち  
Residents who take Pride in their City
- 10 ◎承け継がれる日本文化  
Preserving Traditional Japanese Culture  
人々に愛され地域に根ざした日本最古の菊の祭典 ……10  
心身鍛錬を追求する合気道の聖地 ……12  
門前町の宴を彩る粋なおもてなし ……14
- 16 ◎日本から世界へ  
From Japan to the World  
進化しつづける土と炎の造形芸術 ……16  
印象派から現代芸術まで美術の粋を堪能 ……18  
フランス名門のアカデミー講座を笠間の地で開講 ……19
- 20 ◎日本の中の笠間  
Kasama: A Modern Japanese Town  
自然と語り合う週末農園が都市生活者を癒す ……20  
デザイナーと匠の技を誇る石工たちの競演 ……22  
腕自慢たちが集い熱戦と友情のドラマが生まれる ……23
- KASAMA'S VISION
- 24 みんなで創る文化交流都市  
A City of Cultural Exchange - By and For Everyone
- 人・自然・文化が響き合うまち 笠間まちづくり構想 ……24
01. 広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり【土地利用・都市基盤】 ……28
02. 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり【産業】 ……30
03. 共に支えあい、健やかに暮らせるまちづくり【健康・福祉】 ……32
04. 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり【生活環境】 ……34
05. 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり【教育・文化】 ……36
06. 人と地域、絆を大切にしたい元気なまちづくり【自治・協働】 ……38
- KASAMA'S HISTORY
- 41 史跡が語る笠間の歴史  
The Story of Kasama through its Historic Sites
- 46 笠間彩時記  
Kasama's Seasonal Events
- 48 数字でわかるモノ知り笠間塾  
The Kasama School: Understanding through Numbers
- 52 資料編  
The Data File



市民が  
つくる  
誇り高き  
まち

笠間藩八万五千石、そして宍戸藩五万石の城下町として栄えてきた笠間。長い歴史と伝統の中で、独自の文化や芸術を育んできたこのまちは、関東の小京都と称される雅びを今なお漂わせながら、時代と融合して進化するグローバルな『笠間文化』を発信しつづけています。

Kasama developed as a well-known castle town with a size of 85,000 koku under the Kasama domain, and a 50,000 koku sized region under the Shishido domain. With this long history and tradition, the city has developed its own unique sense of culture and arts and has come to be known as the "Little Kyoto of the Kanto area." This elegance remains to the present day and merges seamlessly with the city's contemporary approach to today's globalized world as it looks to promote its own sense of "Kasama Culture."  
(Koku means the bushel of rice annually)

the  
Real  
Japan  
KASAMA

リアル・ジャパン 笠間

人々に愛され  
地域に根ざした  
日本最古の菊の祭典  
【菊まつりと流鏑馬】



あげ装束とも呼ばれる鎌倉時代の武士の狩装束を身に付けた射手が、疾走する馬上から矢を放つ流鏑馬  
The yabusame shrine ritual event involves archers dressed in traditional hunting costumes of warriors from Japan's Kamakura period (1185 to 1333) letting off arrows at targets while riding horseback.



笠間稲荷の大神様と緑の深い豊凶を占う流鏑馬の古儀は昭和25年から続いている  
Yabusame at Kasama Inari Shrine date from 1950 and were first held to honor the gods and give thanks for a generous harvest.

1908年(明治41年)、笠間稲荷神社の宮司・塙嘉一郎氏は日露戦争によって疲れ、傷つき、荒廃してしまった人々の心を慰めたいと考え、神社の敷地内に農園部を開園して菊を育てました。それが笠間稲荷神社をメイン会場とした笠間の菊まつりへと発展し、茨城の美しい秋の風物詩ともいえる祭典となりました。平成19年には、記念すべき100回目の開催を迎え、これを期に神社と行政、そして市民が一体となって進化させていこうと笠間稲荷の菊まつりから「笠間の菊まつり」と改称し、開催期間中、物産展や絵画コンクール、美術館の特別展など、さまざまなイベントが行われています。

また、まつり最盛期の11月3日には、農作物の豊凶を占う笠間稲荷神社の神事「流鏑馬」が披露されます。馬を疾走させながら、馬上の射手は約20秒の間に3本の矢を放ち、馬場の中央にいる奉公所の日記役が命中度を記録し、

割れ方によって新年の農作物の豊凶を占うという小笠原流の古儀古術の伝承です。菊作りのベテランたちが丹精込めて育てた大菊花展や菊人形展で、優美な花々の競演を鑑賞した人々は、流鏑馬の勇壮な伝統的神事に目を奪われ、笠間の秋の終わりを堪能します。



菊まつり開催中、笠間稲荷神社の特設会場では、「菊人形展」が開かれる。毎年テーマを決め、印象深いシーンを菊人形で再現する  
During the city's Chrysanthemum Festival, the special exhibition space at Kasama Inari Shrine hosts a display of chrysanthemum dolls.

Japan's oldest chrysanthemum festival - the source of great regional pride : Chrysanthemum Festival and Yabusame

In 1908, the chief priest of Kasama Inari Shrine, Kaichiro Hanawa, thought of ways of providing for the physical and mental benefit of the country following its hardships and losses following the Russo-Japan War. He did this by planting a chrysanthemum garden in the grounds of the Kasama Inari Shrine. This marked the starting point of the Kasama Chrysanthemum Festival. Although initially centered on the shrine itself, this festival has come to be a signature event marking autumn in Ibaraki Prefecture. In 2007, as the festival prepared for its 100th anniversary, the shrine and

the local government worked together with local residents in changing the Kasama Inari Shrine Chrysanthemum Festival to the Kasama Chrysanthemum Festival. This provided for an opportunity to hold a number of different events during the period of festivities such as displaying local produce, holding art shows, and displaying special features at the art museum. The festival's peak, on November 3, sees the holding of the Shinto ritual of yabusame (an archery contest on horseback), intended to give thanks for a plentiful harvest.





心身鍛練を  
追求する  
合気道の聖地  
【和の武道】



性別に関係なく、幅広い年齢層の人々が道場を共有し、和合の精神を尊びながら道を極める修行を続けている  
Regardless of sex and age, a variety of people study and practice together while maintaining the spirit of aikido.

合気道は相手といたずらに力で争いません。入身と転換の体さばきから生まれる技によって、お互いに切磋琢磨し合い、稽古を積み重ね、心身の錬成を図ることを目的としています。

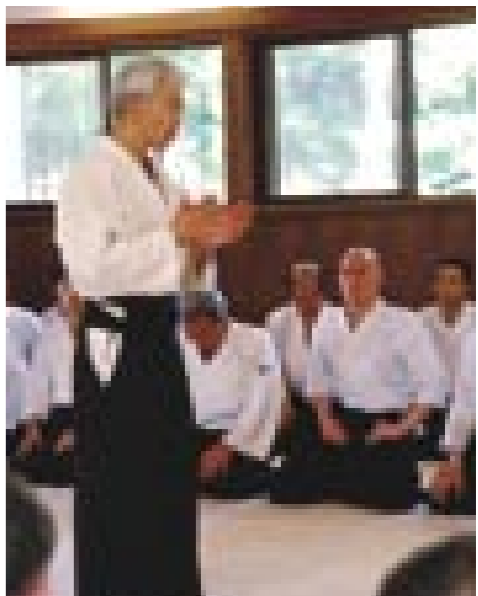
合気道は他人との優劣を競うことをしないため、試合は行いません。お互いを尊重するという姿勢を貫く合気道は、いのちの大切さが訴えられる現代にふさわしい武道といえるでしょう。

笠間は、この合気道の開祖・植芝盛平翁が1944年(昭和19年)、厳しい修行を重ねながら「合気神社」を創建し、合気道を完成させた聖地とされています。緑がうっそうと繁る合気神社に隣接して(財)合気会茨城支部道場があり、年齢や性別、職業もさまざまな人々が稽古に励んでいます。

日本で生まれた合気道は、現在約90カ国に

広がり、150万人の人々が心身鍛練の道として活発に行っています。笠間の(財)合気会茨城支部道場にも、世界各国から合気道の研修のために来日してきた人々が滞在し「和の武道」の技と精神を学んでいます。笠間で合気道の道を極めた人々は、研修後には帰国し、合気道の指導者として活躍することになります。

また、道場の自主活動や国際交流基金のサポートにより、合気道の本場・日本からの指導者派遣も活発化し、合気道という武道による国際交流の和が広がってきています。

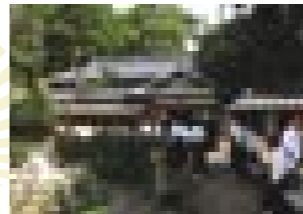


現在の道主は、開祖植芝盛平翁の孫である第三代目の植芝守央氏 Moriteru Ueshiba, the current head of aikido, or Doshu, is a third generation Ueshiba and grandson of the founder of aikido, Morihei Ueshiba.

A special place for forging physical and mental strength required of budo : Aikido

The unique nature of the martial art of aikido involves no competitive bouts due to the essence of aikido requiring practitioners to avoid displaying one's superiority over others. Aikido requires its practitioners to respect each other, and in today's age of placing great respect on human life, aikido can be seen as a suitable martial art for the modern age. The founder of aikido, Morihei Ueshiba, constructed the Aiki Shrine in Kasama in 1944, while resident in the city to undertake the serious training required for this activity. Ever since, Kasama has come to be regarded as the spiritual home of aikido. With a lush surrounding of trees and greenery, the shrine is connected to the Aikikai foundation Ibaraki-shibu

Dojo, which provides aikido lessons to students, regardless of age, sex, or background. Since its inception in Japan, the practice of aikido has spread to approximately 90 countries, with over 1.5 million active practitioners taking advantage of the mental and spiritual training it provides. The Aikikai foundation Ibaraki-shibu Dojo in Kasama plays host to visitors from a number of different countries who come to study aikido while resident in the dojo, where they learn about the techniques and spiritual aspects of this martial art. Many practitioners who come to aikido's spiritual home return to their own countries to promote the martial arts as instructors in their own right.



(財)合気会茨城支部道場での講習会には、全国から人が集い稽古の成果を披露する  
The practise area of the Aikikai foundation Ibaraki-shibu dojo plays host to people from all over the country giving public displays of their training.



たゆまぬ稽古を続けることが進歩への第一歩であり、稽古の大切な一面だという  
Unstinting practise is the first step towards progress in aikido and is an important element when practising aikido.





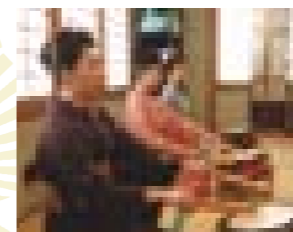
門前町の  
宴を彩る  
粋なおもてなし

【笠間芸妓】

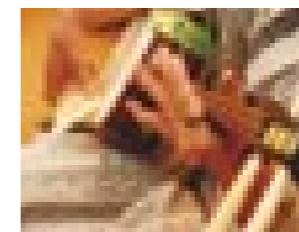
A warm welcome that typifies the hospitality of a traditional temple town : Kasama Geisha

As home to one of Japan's big three Inari shrines, Kasama has developed into a typical temple town over the centuries as it spread out from the Kasama Inari Shrine. It continues in this role today in welcoming both worshippers to the shrine and tourists who take advantage of the city's renowned dining and entertainment options exemplified by its *geisha* as the city continues its traditions of highlighting its cultural and entertainment options. The first *okiya*, or *geisha* house, in Kasama were constructed in the latter stages of the Meiji era (1868 to 1912). This brought the sounds of the three-stringed *shamisen* flowing through the city's streets lined with inns and restaurants, with visitors hearing the delicate sound of *geta* sandals clacking through the street as *kimono*-clad *geisha* strolled

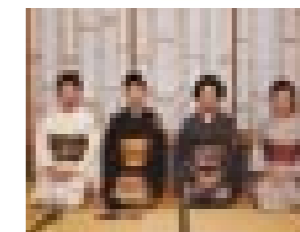
up and down the entertainment district late at night. Present-day Kasama is home to fewer active *geisha*, although the city retains 11 *okiya*, with a total of 20 active *geisha*, ranging from veteran performers to younger trainees. The continuing strength and ability of these *geisha* comes from the third-generation proprietress of the oldest *okiya* in Ibaraki Prefecture with a 90-year history, who continues to watch over the city's *geisha* to this day. Veteran *geisha* provide regular training sessions to the city's younger *geisha* in their 20s and 30s, providing the passion for the job required by all *geisha*. This system ensures that proper training is being provided to the traditional core of Kasama's hospitality, who provide the dancing, singing, and music that accompany banquets and festivities.



稽古とはいえ、座敷には緊張感が漂い、プロとしての心意気を感じられる  
In what can be seen as training of *geisha*, guests can feel a sense of tension in the room when *geisha* perform with a true feeling of spirit in each performance.



宴席には欠かせない粋な三味線の音色が響く  
Guests can hear the unmistakable sound of the *shamisen*—an essential component of banquets—from their inn or restaurant.



芸妓には、素養としてひとつおりの音曲、茶道などの心得が求められる  
*Geisha* are required to have a grounding in music, the tea ceremony and other essential knowledge.

日本三大稲荷のひとつ、笠間稲荷神社の門前町として古くから栄えてきた笠間のまち。参拝や観光のために訪れる人々の宴席を華やかに彩る芸者たちもまた、笠間文化の粋を継承する人々です。

笠間のまちに芸者の置屋ができたのは、明治時代の後期ごろ。料亭や旅館が並ぶ通りには三味線の音が聞こえ、下駄の軽やかな音を響かせて、着物姿で往来する芸者たちの姿が夜遅くまで見られました。

笠間芸妓組合の事務所がある見番の電話が鳴り止まないというほどの隆盛期は、1985年(昭和60年)前後だと伝わっています。この年には、茨城県のつくば市で「科学万博」が開催され、世の中は経済成長を続けていた時代です。記録によると、当時笠間には40軒もの芸者置屋が存在し、120名を超える芸者たちが活躍していました。夏には那珂

奏を代表する八朔祭で祭り囃子を演奏して観客を喜ばせ、笠間の秋を盛り上げる菊まつりでは、菊人形の仕掛け舞台の『段返し』に登場し、艶やかな手踊りで見物客を魅了しました。

時代の流れの中で、笠間でも芸者の出番は少なくなってきましたが、今でも置屋は11件。芸者衆もベテランと若手を含めて20名が現役で活躍しています。そんな芸者たちにとって心強いのは、創業90年という県内最古という置屋の三代目女将が笠間の芸妓文化を見守ってくれていることです。ベテランの姐さんたちが指導にあたる月2回の稽古には、20代、30代の若手たちが熱心に通ってきます。舞踏や音曲、鳴物で宴席に興を添える笠間のおもてなし文化の担い手は確実に育っています。



姉芸妓たちは、若手育成のため定期的に踊りや唄、語りや三味線の指導を行っている  
The more experienced *geisha* periodically instruct the city's younger *geisha* in dance, song and *shamisen* lessons.



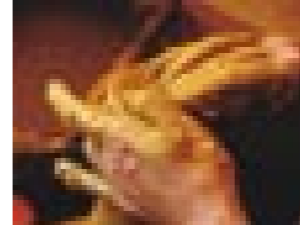
「芸者」とは一人前の芸妓のことであり、見習いは「半玉(はんぎょく)」または「雛妓(おしやく)」などと呼ばれる  
*Geisha* refers to artists capable of performing solo. Apprentices are referred to as *hangyoku* (half egg) and *oshaku* (fledgling *geisha*).

# 進化しつづける 土と炎の 造形芸術

【笠間焼】



the  
Real  
Japan  
KASAMA  
式・日本から世界へ



熟練した手技によって、粘土に命が吹き込まれていく  
The experience and skilled manual labor of the city's artistic corps blends life experience into the region's clay.

ゴールデンウィーク期間中の笠間は、毎年恒例のように笠間芸術の森公園へ向かう車の列が続きます。この時期、茨城県内で最も集客力のあるイベントとして定着している陶炎祭(ひまつり)目当ての観光客が訪れるからです。公園敷地内のイベント広場には約220名の陶芸家や窯元、地元の販売店が手作りで作り上げた店が並び、個性豊かな作品がディスプレイされます。好みの食器や花器との出会いを求めて、品定めしながら仮設店をのぞいて歩くお客たち。普段は顔が見えない陶芸作家たちもこの祭りでは積極的に応対し、何気ないおしゃべりが弾みます。作品の販売をするかたわらで、飲み物や食べ物の店を切り盛りするのもまた作家たち。その中には外国人作家たちの笑顔も目立ち、広く海外でも評価される



食器や茶器、花器や置物など、作家の個性と感性が漂うさまざまな作品は、どれも深い味わいがある  
Each of the dishes, tea sets, vases, and other Kasama-yaki ceramic products has their own unique characteristics that reflect the individuality and sentiment of their creator.

## The Region's Evolving Ceramic Art : Kasama-yaki

During the Golden Week period in late April and early May, Kasama sees a stream of visitors to its annual arts and craft fair in the city's Geijutsunomori Park. This period coincides with Ibaraki Prefecture's most popular festival, the Himatsuri Festival, which draws in substantial numbers of visitors. Up to 220 potters and ceramic artists come together in the park's event square, with a number local ceramic shops setting up stalls offering hand-made ceramics and displays that are full of individuality. Visitors come from far afield in the search for ceramic dishes and vases, with the event offering the chance for customers to examine the quality of the works on display as they wander from stall to stall. The festival also provides an opportunity for visitors to interact with the usually unseen potters and artists behind

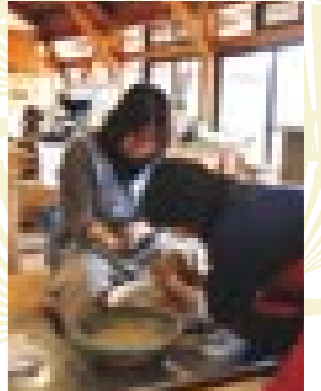


新しい工芸品づくりに取り組もうとする作家たちが笠間には多く集まってくる。毎年、新しい陶房も増えている  
Kasama is home to artists and designers involved in the creation of new craft products.

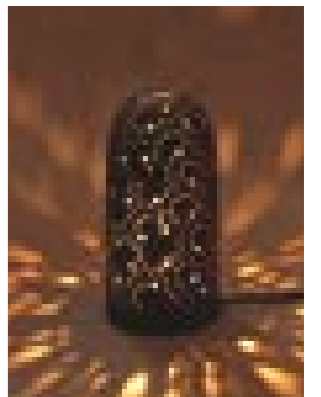
笠間焼の国際性と、伝統を守りながらもすべての人々に門戸を開く柔軟性が伝わってきます。

笠間焼の歴史は古く、江戸時代中期に箱田村(現・笠間市内)の久野半右衛門が信楽焼の陶工の指導を受けて窯を築いたのが始まりと伝えられています。廃藩置県までは藩の保護と奨励を受け、昭和20年ぐらいまでは土瓶やすり鉢、土鍋や片口などが作られていましたが、時代とともに食器や茶器、装飾品など幅広いジャンルにわたった作陶が行われるようになってきています。

笠間の陶土には鉄分が多く含まれているため、焼き上がりの地肌は赤黒く、化粧土や絵付を施すことで多彩な色合いを対比させるなど作家の感性を表現する幅広い作品が生まれます。時代の流れに柔軟に対応する笠間焼の風土は、照明や音響機器、オブジェやユニバーサルデザインの食器の開発といった、新たな領域への挑戦も続いています。



焼き物の里では、気軽に体験できる「陶芸教室」も数多く開催されている  
As the home of ceramic products, the city is host to a number of ceramic art studios, where visitors can experience making their own ceramic products.



ドラマティックな光りを放つ照明もまた笠間焼でできている  
Kasama-yaki is also used in creation of contemporary products such as dramatic lighting systems.



印象派から  
現代芸術まで  
美術の粋を堪能

【笠間日動美術館】

なだらかな丘陵の立地を生かして設計されたモダンな建築物。中央には、豊かな緑を生かした野外彫刻庭園があり、人々は作品の前で足を止めながら、ゆったりと散策を楽しんでいます。

ここは、笠間の芸術の殿堂ともいえる「笠間日動美術館」。日本で最も歴史のある洋画商であり、日動画廊の創業者でもある長谷川仁氏が郷里の笠間の芸術文化に貢献しようと1972年(昭和47年)に設立しました。

開館以来、ヨーロッパの印象派からエコール・ド・パリに至る絵画など国内外の名品を常設する美術館として多くの美術愛好者を魅了

してきましたが、画家が愛用していたパレットに絵を描いたという世界的にも珍しいパレットのコレクションを有することでも知られています。笠間の観光を兼ねて、県内からはもちろん、首都圏から多くの人々が訪れる理由もここに 있습니다。敷地内には3つの展示館があり、周遊する楽しみと著名画家の作品を鑑賞する豊かな時間が同時に堪能できる仕掛けも好評です。四季折々に美しく景観を変える周囲の自然と融合した美術館では、年間数回の大型企画展が開催され、季節ごとに展示替えを行っているため、定期的に訪れるリピーターもたくさんいます。



屋外庭園には、日本の具象彫刻界を代表するアーティストたちの秀作19体が展示されている  
The outdoor garden displays sculptures from some of Japan's leading artists.



移り行く季節を風を感じることができる丘陵地に、笠間日動美術館はある  
The surrounding hills and foliage change with the seasons to offer visitors contrasting visual experiences of the Kasama Nichido Museum of Art.



展示されている美術品は秀作や名品揃いで、創業者・長谷川仁氏の画商としてのキャリアと、交流の広さを物語っている  
The famous works and masterpieces on display at the museum reflect the personal life of the museum's founder, Jin Hasegawa, throughout this career as a gallery owner and the breadth of his interaction in the art world.

A place to enjoy the beauty of art :  
Kasama Nichido Museum of Art

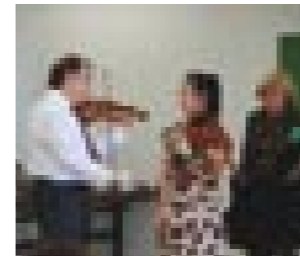
The Nichido Museum of Art is sited in a contemporary designed building nestled among gently sloping hills in Kasama. The central part of the museum features an outdoor sculpture garden that lies in harmony with its beautiful surroundings, where visitors can relax in front of the assembled works and enjoy them as they take a gentle stroll around the garden.

The Kasama Nichido Museum of Art is also known as the "Kasama art hall of fame," contains one of Japan's oldest collections of western art and was established in 1972 by the founder of Galerie Nichido, Jin Hasegawa, who wished to contribute to the culture of his hometown of Kasama.

Since the gallery's opening it has come to be recognized by art lovers and visitors alike as one of Japan's leading permanent collections of both domestic and foreign art, including pieces that range from the European impressionists to Ecole de Paris. The museum also holds a unique collection of actual palettes used by famous artists in their work.

フランス名門の  
アカデミー講座を  
笠間の地で開講

【クールシュヴェール国際音楽アカデミー】



アカデミー受講希望者は、オーディションによって選考される  
All applicants wishing to participate on the program are selected by audition.



参加する講師たちは、さまざまな国際コンクールで入賞を重ね、音楽大学でも指導に当たる優れた音楽家たちだ  
Participating lecturers are all world-renowned musicians who have been recognized for their work at international contests.

クールシュヴェールとは、イタリアの国境にほど近いフランスでも有数のリゾート地です。この地で毎年夏に開催される「クールシュヴェール夏季国際音楽アカデミー」は、世界各国から招集された60名に上る一流の音学家によるレッスンが受けられるヨーロッパでも権威ある音楽アカデミー。このレッスンの受講希望者は多く、世界中から演奏家をめざす若者が600人も集うほどです。この名高いアカデミーを日本で開講するにあたり、開催地として選ばれたのが笠間でした。2005年春に第1回を開催してから、毎年恒例となった「クールシュヴェール国際音楽アカデミー in かさま」は2008年で4回目を迎えました。10歳から25歳までのヴァイオリンとピアノ演奏家をめざす人々それぞれ36名、計72名がオーディションで選ばれ、約10日間笠間に滞在しながら、世界一流のレッスンを受講するシステムです。

また、このアカデミーの開催は、笠間の「音楽によるまちづくり」に位置づけられているこ

とも注目されています。世界に羽ばたく若手音楽家の育成を通じ、音楽文化発信地としての笠間では、アカデミーの公開レッスンや一流講師によるコンサートを開催し、世界最高の演奏を堪能できるようになりました。音楽愛好家による街角コンサートも開かれ、音楽に親しむまちづくりが進んでいます。

Lectures in Kasama by members  
of Music Academy : Courchevel  
International Music Academy

The city of Courchevel is part of a concentrated resort area situated on the Franco-Italian border. This city plays host every summer to the "Courchevel International Summer Music Academy," which invites 60 participants from all over the world to receive lessons from some of the finest musicians and is regarded as one of Europe's leading music academies. Applications to the summer school are always oversubscribed and usually include up to 600 applications from professional musicians from all over the world. When this renowned music school looked to develop an overseas series of workshops in Japan, it selected Kasama as the location for its classes. The first school was held in the spring of 2005, with this year marking the fourth annual Courchevel International Music Academy in Kasama. A total of 72 young musicians, consisting of 36 pianists and 36 violinists, were selected from auditions and during their approximately 10-day residence in Kasama they will undergo training and participate in workshops of a world-class standard.

# 都市生活者を癒す週末農園が自然と語り合いつ

【笠間クラインガルテン】



広大な敷地に整備された宿泊型の市民農園。菜園づくりのほか、笠間市民とも交流を図りながら、農を取り巻く豊かなライフスタイルが楽しめるという魅力だ  
A public allotment area with simple accommodation set amidst an abundant area of land. The Kasama Kleingarten is intended for members to interact with one another while enjoying a rural lifestyle reminiscent of life on a farm.

ドイツ語で「小さな庭」を意味するクラインガルテン。ドイツやイギリスをはじめとするヨーロッパ諸国では、都市周辺の緑地帯を活用し、自分の庭をもたない都市生活者のために「農園」を提供する市民農園制度が1800年代から始まっています。その考え方を基本に、地域の自然環境を生かし、人と文化の交流がかなうグリーントーリズムを活性化させようと平成13年からスタートしたのが「笠間クラインガルテン」です。

笠間クラインガルテンの広大な敷地には、ラウベと呼ぶ簡易宿泊施設付きの市民農園が50区画あり、300m<sup>2</sup>の土地にそれぞれ100m<sup>2</sup>の菜園と芝生が整備されています。利用希望者は、3組以上の家族やグループで申し込み、1年単位の契約で最長5年間、週末などを活用して宿泊しながら菜園づくりを楽しむのです。クラブハウスでは、利用者同士が歓談したり、講演会や会議、笠間市民との情報交換や交流が活発に行われています。草花や季節の野菜を手づくりしながら、陶芸を楽しみ、そば打ちや旬の山菜を味わう豊かな週末の農村生活。その魅力を体験した利用者たちからは、農園

## Weekend allotments where city dwellers enjoy interaction with neighbors and nature : Kasama Kleingarten

Kleingarten, German for “small garden,” refers to allotment-style gardens that are popular in Germany and the U.K., among other European countries. These make up green belts around urban areas and provide space for city dwellers with no garden of their own to work and live on at weekends and experience owning their own patch of land. This system of urban farming arose in the 19th century and its introduction in Kasama in 2001 was intended to provide facilities for the city’s inhabitants as well as maintain the natural environment of the city and contribute to activating the city’s efforts to attract green tourism in what was labelled “Kasama Kleingarten.”  
The area of land given over to the development of the

生活の喜びや発見、新しい価値感が生まれたなど、笠間で充実したライフスタイルを見出した実感が語られています。

クラインガルテンでは年間を通じて参加できるプログラムが豊富に用意されていますが、平成18年度の年間参加者は3,000名余り。あるグループ利用者が年間に参加した行事数は、栽培講習会やウォーキング、音楽会やホテル鑑賞など120回を超える高頻度。首都圏から近い立地の良さと笠間の自然や豊かな文化的風土が、都市生活者の心を捕らえています。



丹精込めて育てた作物を収穫する喜び。都会で暮らす人々にとって、街では味わえない感動だ  
Members take great pleasure in growing crops and other products that are grown with their own loving care. For people living in urban areas, this provides a taste that isn't normally available in cities.



週末を家族で過ごすことが多くなった、という利用者は多い  
Many members spend weekends here with their families.



農業や化学肥料を使わない有機栽培による野菜づくりも好評だ  
One popular activity at the Kleingarten is organic farming, which uses no chemical fertilizers or agricultural chemicals.



ラウベ（簡易宿泊施設）での朝は、鳥のさえずりが目覚まし代わりに  
Residents of the facility's laube (simple accommodation facilities) are woken by the sound of crowing roosters.



# デザイナーと 匠の技を誇る 石工たちの競演

【いなだストーンエキシビジョン】

**稲** 田石とは、江戸時代から笠間で採掘と加工が行われている黒雲母花崗岩で、年間約1万2,000トンの採掘量を誇る笠間は、日本最大の産地として知られています。古くは三井銀行本店（明治35年施工）や日本橋の橋桁（明治40年施工）、明治神宮、最高裁判所などの建物にも使用されている稲田石は、日本の近代化を担ってきた強固で美しい石材です。そこには、稲田石の特色を熟知し、先人たちの匠の技を受け継いできた地元の石材業や石工たちの誇りがありました。

そんな稲田石に秘められた新たな可能性と地場産業の活性化を狙い、2005年（平成17年）にスタートしたプロジェクトが「いなだストーンエキシビジョン」です。全国規模でさまざまな著名建築物に採用されてきた稲田石独自の堅牢さと美しさに注目した日本を代表するグラフィックデザイナーたちが、自らの



伝統的な石工技術がモダンなモニュメントに蘇る  
Traditional stonemasonry techniques brought back to life through work on modern monuments.

感性でモニュメントやオブジェをデザインし、地元の石工たちの匠の技がカタチにするという画期的なコラボレーション。伝統とモダンアートの発想が融合した作品の数々は、高級建材としての稲田石をメッセージ性のある芸術作品の領域に押し上げました。回を重ねるごとに注目度が増すエキシビジョンは、各地で開催される巡回展も好評です。



稲田石材商工業協同組合とグラフィックデザイナーたちのコラボレーションによって誕生した催し。稲田石の新しい可能性の創造は、今まで石材に興味のなかった人々にもアピールするキッカケとなった  
The Inada Stone Exhibition came about through collaboration between the local stonemasons union and some of Japan's leading graphic designers.



日本の近代化を陰で支えてきた石材とモダンアートの融合。意外な出合いが、人々を魅了する数々の芸術作品を生み出している  
An unusual combination of stone and modern art produces artistic works that are truly impressive.

## Bringing designers and stonemasons together to show off their skills : Inada Stone Exhibition

Inada stone has been mined and processed from the Kasama region's granite since the Edo period. Approximately 12,000 tons of the stone is mined annually, which has given rise to Japan's largest production center of inada stone. Inada stone from Kasama has been used in a number of notable buildings, including the Mitsui Bank head office (constructed in 1902), the bridge girders for Tokyo's Nihonbashi bridge (constructed in 1907), the Meiji Jingu Shrine, and the High Court of Japan. This beautiful and elegant stone can be seen as a robust force behind the modernization of Japan. With the aim of realizing the possibilities contained within this inada stone for use in a contemporary setting and revitalizing local production of inada stone led to a new project starting in Kasama in 2005, the "Inada Stone Exhibition." Graphic designers were given the task of coming up with original designs for a monument or object that reflected their own artistic leanings while taking advantage of the unique beauty and strength of inada stone that has been used in so many of Japan's most famous buildings. Combined with the skills and knowledge of local stonemasons, this led to the formation of a groundbreaking new collaboration.

# 腕自慢たちが集い 熱戦と友情の ドラマが生まれる

【全国高等学校アームレスリング選手権大会】



日本の伝統的な格闘技「腕相撲」に国際競技規定のルールを取り入れたアームレスリング。老若男女それぞれの力量に合わせた競技が展開できる  
This competition uses the rules of the International Arm Wrestling Federation and applies them to Japan's own traditional form of arm wrestling. This is then used to develop arm wrestling techniques that match the physical strength of all age groups and sexes.

**だ** れでも気軽にチャレンジできるゲームであり、世界選手権大会が開催される格闘技スポーツとしても不動の地位を確立しているアームレスリング。一方、身体に障害をもつ方々が、健常者と同じ競技台で対戦できる唯一の格闘技スポーツもアームレスリングです。笠間では、スポーツの振興と地域活性をめざす、国のスポーツ拠点づくり推進事業の指定を受け、全国高等学校アームレスリング選手権大会を毎年開催しています。平成19年度には第6回大会を開催し、全国の高校アームレスリング選手のあこがれの「聖地」として、腕自慢の若者たちを迎えました。

アームレスリングは、スピードとパワー、そしてテクニックが求められるスポーツ。大会会場では、毎年、心に残る数多くの熱戦が繰り広げられ、参加する選手はもとより観客たちをも大いに興奮させています。また、戦いの勝敗

を分け合うことで、選手同士に友情が生まれ、笠間が高校時代の思い出のシーンの舞台として心に刻まれていることでしょう。全国から選ばれた屈強な高校生たちが集うアームレスリング大会では、緊張と興奮の対戦とともに素敵なドラマが毎年生まれています。

## Bringing together the strongest arms in Japan : All Japan High School Arm Wrestling Championships

Arm wrestling is an accessible sport that allows all participants to challenge anybody else; is an established sport with its own world championship; and allows non-mobile participants to take part. Participants with physical disabilities can even be allowed to take part in an integrated competition in which they compete against other healthy competitors. The city of Kasama, with the aim of promoting this sport and activating the local economy, received funding to develop a national sports center and now plays host to Japan's annual All Japan High School Arm Wrestling Championships. The 6th competition was held in 2007 and Kasama has come to be recognized as the home of arm wrestling in Japan, with young arm wrestlers from all over the country looking forward to competition in the annual championships.



## column コラム



史上最大50メートルの「そばいなり寿司」づくり

## 笠間稲荷の門前町ではお稲荷さんとゆかりの深い稲荷寿司で街おこし。

稲荷神社のシンボルといえば、きつね。きつねは油揚げが好物と伝わることから油揚げの寿司は「稲荷寿司」と呼ばれるようになりました。

笠間稲荷の門前町・笠間でも稲荷寿司は名物のひとつです。その昔、笠間稲荷がクルミ林の中にあり「胡桃下稲荷」（くるみがし

たいなり）とも呼ばれていたことから、甘めに煮た油揚げの中にクルミ入りの酢飯を詰めた『クルミ稲荷寿司』が誕生し、参拝客を中心に人気を集めています。また、酢飯の代わりにそばを詰めたそば寿司のほか、工夫を凝らした稲荷寿司を扱う店が軒を連ね、食による街おこしに貢献しています。



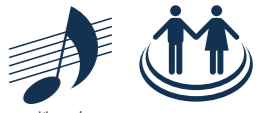
住みよいまち  
訪れてよいまち



[土地利用] [産業]  
都市基盤



[健康] [生活環境]  
福祉



[教育] [自協働]  
文化

KASAMA'S VISION

# みんなで作る 文化交流都市

笠間市は、平成18年3月に旧笠間市、友部町、岩間町の3つの市町が合併し、新しい市として歩みはじめました。豊かな自然、歴史や文化、そして地場産業などの豊富な資源を生かしながら、だれもが誇りを持てるまちづくりをめざし、さらに飛躍するための指針として、総合計画を策定しました。

## A City of Cultural Exchange - By and For Everyone

Kasama was formed from a merger in March 2006 between the former city of Kasama and the twin towns of Tomobe and Iwama and the city has continued to develop in its new status ever since. With verdant nature, a long history and culture, and a surrounding landscape that provides plentiful resources for local industry, Kasama aims to develop as a city that all residents can take pride in. A comprehensive plan for the new city was also formulated to ensure that Kasama would continue to develop and grow.

1

1.自然環境や景観との美しい調和を図りながら、豊かで伸びやかなまちづくりが進んでいます

2

2.肥沃な農地や集落地を里山と一体的に保全し、グリーンツーリズムなどを満喫できる環境を整えています

3

3.自然公園をはじめとする雄大な山々に恵まれた緑地地域。大自然を大切にしながら、観光レクリエーションや憩いの場として活用しています

1.Aiming to balance preservation of a beautiful natural environment and landscape with full and unrestricted urban development.

2.Preservation of fertile farmland with residential land integrated with surrounding natural areas. Maintaining an environment that can satisfy and support green tourism.

3.A green and fertile land that is blessed with grand mountains and is home to a prefecture-level national park. Preserving the important aspects of the great outdoors while allowing development of recreational areas for visitors.

# 笠間市総合計画

## KASAMA'S VISION

# みんなで創る 文化交流都市

### ○ 総合計画とは

笠間市は、これからどのような都市をめざしていくのでしょうか。将来像とその実現に向けた施策の方向を示し、市民と行政が一緒に考え、築く、新しいまちづくりの指針となるのが総合計画です。10年後のビジョンを示す「基本構想」、5年後を目標にした部門別主要施策を示す「基本計画」、財政を踏まえた具体的な事業計画を示す「実施計画」で構成されています。

#### 【構成】



#### 【期間】

	H19 2007	H20 2008	H21 2009	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016
基本構想	[Bar chart showing duration from H19 to H28]									
基本計画	前期					後期				
実施計画	[Bar chart showing duration from H19 to H28]									

### ○ まちづくりの基本方針

旧笠間市、友部町、そして岩間町の3市町が合併した笠間市は、自然と風土に育まれた文化・芸術や産業などがさらに豊かになりました。それらの豊富な資源に加え、広域交通の要衝である立地条件を生かして、独自性と自立性の高いまちに飛躍していくために、市民と行政の「連携と協働のまちづくり」を大きなテーマに据えて、豊かな笠間の将来像をプランニングしました。

#### About the Comprehensive Plan

The city's comprehensive plan was formulated to determine what kind of city the new Kasama would become. The plan considers a future vision for the city and the steps required to ensure that this is realized. This calls for dialogue between the city administration and residents of Kasama in shaping policy for the city's

### にぎわいの創造

産業をはじめとする笠間固有の豊かな資源を生かし、活力ある誇れるまちづくりを行います。地域の特性とバランス、そして全体の一体感を大切にしながら、住む人、訪れる人みんなに愛されるまちをめざします。  
Urban development in Kasama is focused on making use of the region's inherent resources—primarily in industry, but also in other areas—in achieving substantial growth and development. While ensuring a balance is maintained with the region's unique characteristics and placing importance on a sense of integration, the plan aims to develop a city that is treasured by both residents and visitors.



### ふれあいの創造

身近な地域から市内外まで、笠間に愛着を持つ人々のふれあいを広げていくまちづくりを行います。ふれあいを通して豊かな文化を育み、地域の魅力ある情報を国内外に発信し続けられるまちづくりをめざします。

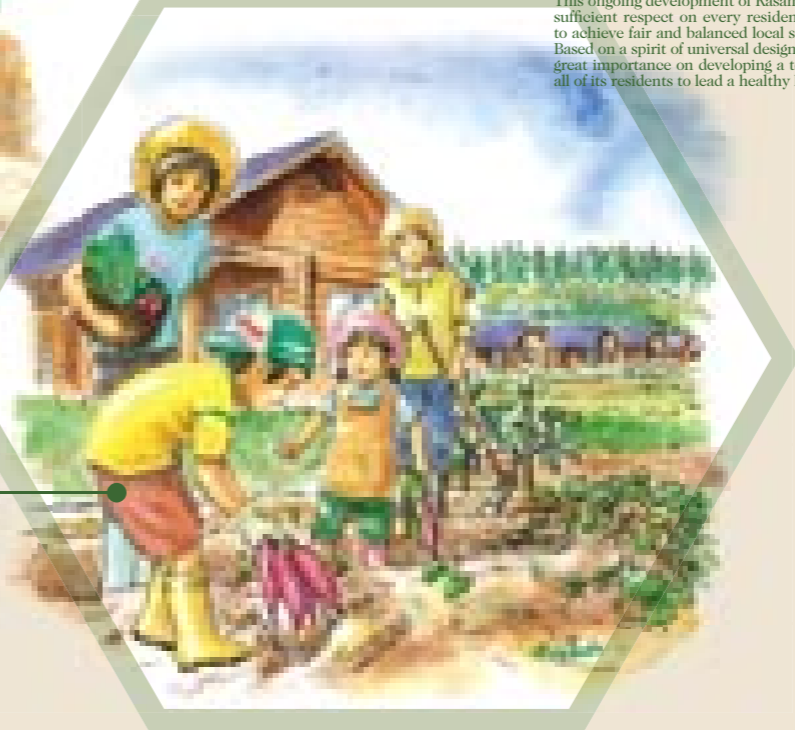
The city is currently implementing urban development that aims to create room for interaction between residents of Kasama and people from nearby regions who are connected to the city. The city hopes that this interaction will contribute to the cultural development of Kasama and lead to information regarding the city being transmitted not only throughout Japan, but further afield as part of ongoing efforts to advance the city.



### やさしさの創造

市民一人ひとりが尊重され、公平・公正な自治を育むまちづくりをします。ユニバーサルデザインの精神を基本に、だれもが健やかに暮らせるまちづくりを大切にしていきます。

This ongoing development of Kasama aims to place sufficient respect on every resident while looking to achieve fair and balanced local self-government. Based on a spirit of universal design, the city places great importance on developing a town that allows all of its residents to lead a healthy lifestyle.



### 住みよいまち 訪れてよいまち 笠間

- [ 土地利用・都市基盤 ]

**01** 広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり ▶ p28
- [ 産業 ]

**02** 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり ▶ p30
- [ 健康・福祉 ]

**03** 共に支えあい、健やかに暮らせるまちづくり ▶ p32
- [ 生活環境 ]

**04** 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり ▶ p34
- [ 教育・文化 ]

**05** 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり ▶ p36
- [ 自治・協働 ]

**06** 人と地域、絆を大切にしたい元気なまちづくり ▶ p38

#### Basic policy for urban development

Born from a merger between the former Kasama City, Tomobe Town, and Iwama Town, the new city of Kasama provides an even better setting for the development of culture, art, and local industry set against the expanded region's natural surroundings and climate. In addition to these rich supplies of resources, the city is in the perfect location to become a key local and national transport hub that covers a broad area of Ibaraki Prefecture. In

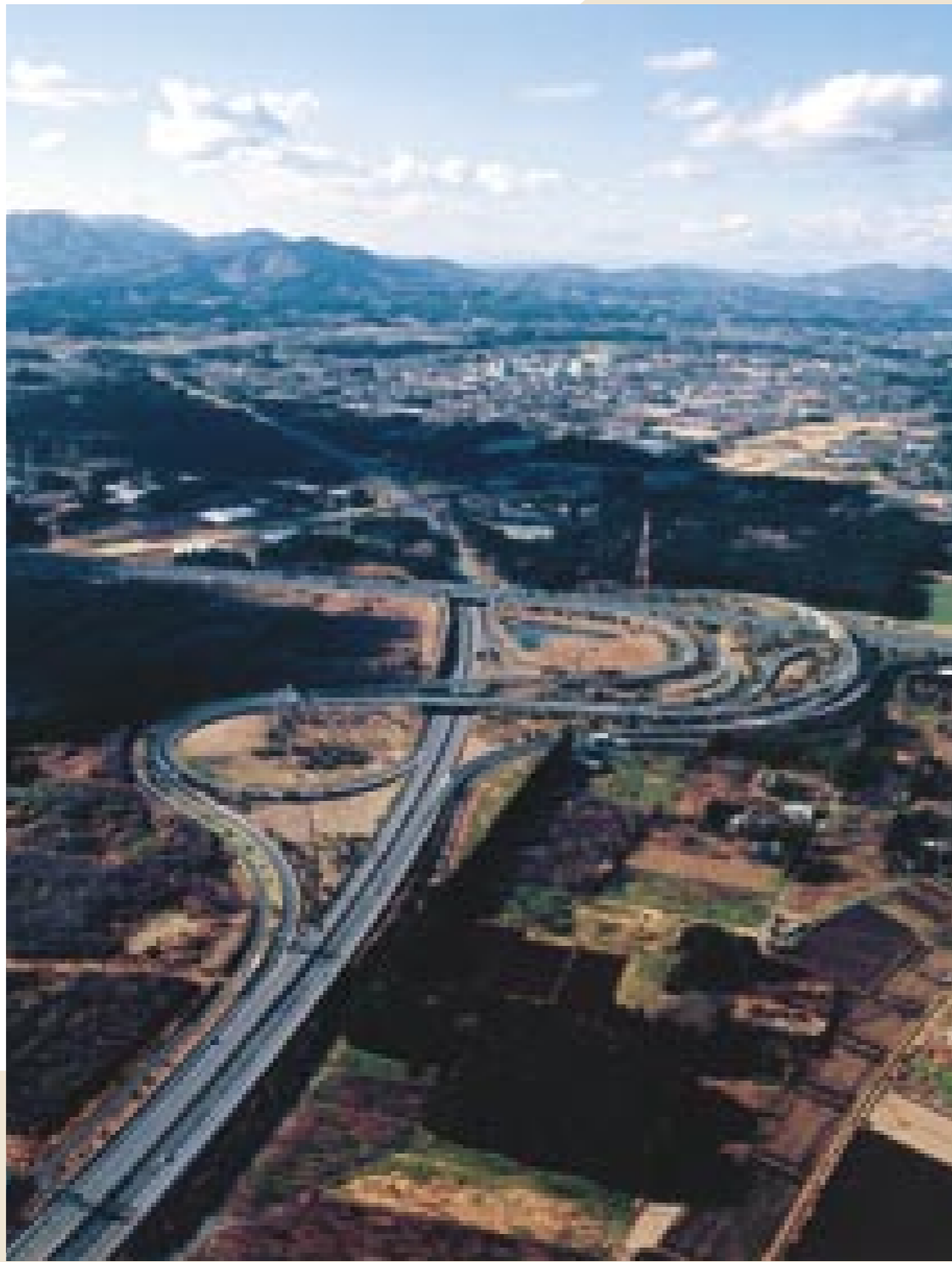
order to develop as a city with a unique individuality and degree of independence, the city of Kasama looks to operate based on a central theme of "urban development in cooperation and coordination" between the local government and the residents of the city. This is at the core of planning for the creation of a future vision of a rich and successful city.



【土地利用・都市基盤】

A new generation of urban development giving rise to an extensive transport hub

# 広域交流基盤を生かした 新時代のまちづくり



常磐自動車道と北関東自動車道を接続する友部ジャンクションが設置され、広域交通の要衝としての笠間の地理的優位性が飛躍的に高まった  
Establish the Tomobe junction to dramatically improve Kasama's geophysical position as the regional hub of a widespread transport network.



国道50号は、笠間の主幹道路として活発な都市活動を支えている  
Support the city's activities through use of National Route 50 as Kasama's main thoroughfare.



## 恵まれた交通環境と地理的特性を生かし、美しく機能的な都市空間を形成。

**笠**間市を構成する笠間地区、友部地区、岩間地区それぞれの特性を生かし、「街」「里」「森」の環境が際立つ魅力あるまちづくりが進む中で、高速道路網の整備や拠点開発が行われ、広域的交流の基盤が整いつつあります。今後は、開発などの適切な規制と誘導を図りながら、住環境や市街地の整備、生活や産業の拠点づくりなど、自然と調和した適正な土地利用を進めていきます。また、北関東自動車道の整備や茨城空港(百里飛行場)開港による効果を踏まえ、インターチェンジへのアクセスや地域間をつなぐ幹線道路の

整備とネットワーク化を推進していきます。一方、駅周辺整備や「デマンドタクシーかさま」の運行により、利便性・移動性の向上を図っています。また、進化する高度情報化社会に対応する情報通信網の整備と充実を図るとともに、申請などの電子化を進め、市民生活の向上に役立つ情報化施策を推進しています。さらに、本市が誇る自然環境や歴史的環境との共生をめざした、美しいまちづくりへの意識を高めながら、「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」にふさわしい景観の保全と創造にも取り組んでいます。



デマンドタクシーは、市民の移動手段として公共施設や病院、商店などへの足として利用されている。  
Residents use a taxi-on-demand service as a means of local transport.

### Creating a beautiful and functional urban space that takes advantage of its geophysical characteristics and status as a well-endowed transport hub

Development planning for Kasama takes account of the differing attractions of city, farm, and forest that provide the unique environments of the Kasama region, Tomobe region, and Iwama regions of the city. This is together with the development of Kasama as a national and regional transport hub as part of a national highway network infrastructure. As part of its future plans, the city intends to continue with efforts to create a comfortable living environment and urban infrastructure while developing Kasama

as a both a residential and industrial center, which makes appropriate use of its land while maintaining a balance with the natural environment. The city also intends to take advantage of existing infrastructure such as the Kita Kanto Expressway and the opening of Ibaraki Airport (JASDF Hyakuri Airbase). This is intended to lead to promotion of the region as a hub for developing infrastructure and as a network for access to highway interchanges and trunk routes for connecting regions.



高速道路とそのインターチェンジの整備が地域の活力を高めている  
Improve the regional economy through development of the nearby expressway and interchange providing access to the city.



まちのシンボル「大鳥居」をランドマークに、多くの観光客が訪れる  
Develop the Kasama symbol, the great shrine gates, as a landmark that will attract visitors.



だれにでも利用しやすい駅をめざして、JR友部駅のバリアフリー化が進められている  
A train station that can be used easily by any resident or visitor, the JR Tomobe Station is undergoing improvements to create a wheelchair friendly facility.

KASAMA'S  
VISION  
01



# 多彩な交流で飛躍する 活力ある産業のまちづくり

【産業】

Development through a diversified transport system  
Urban development based on dynamic industry



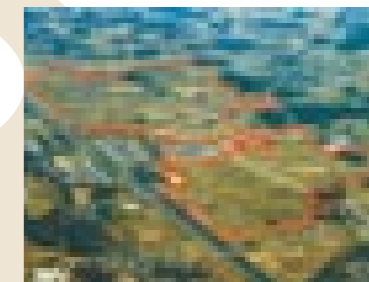
全国一の栗の産地をめざし、市、JA、生産者が一体となったブランド化戦略が進んでいる  
In looking to become Japan's leading producer of chestnuts, efforts are continuing to develop an integrated branding strategy involving the city, Japan Agricultural Cooperatives (JA), and producers.



笠間では、だれにでも使いやすいユニバーサルデザインの食器も開発されている  
The city is continuing with efforts to develop universal design utensils that can be used by anyone.



日本最大のみかげ石の産地・笠間。石の百年館では、採掘に関する貴重な資料が公開されている  
Kasama is home to Japan's largest granite production site. The city's Stone Museum provides a wealth of information regarding the region's mining history.



茨城中央工業団地(笠間地区)は、広域的な複合産業団地の形成を目指している  
The Ibaraki Chuo Industrial Park (Kasama Region) is aiming to develop a widespread compound industrial estate within Kasama City.

## 笠間の風土が息づく交流を広げ、 豊かな暮らしにつながる活力ある産業を振興。

**歴** 史的資源や芸術・伝統文化をはじめ、緑の山々や田園などの豊富な資源に恵まれた笠間市には、多くの観光客が訪れます。本市では、多様化する観光客のニーズに応えられるよう、観光ボランティアなどの支援によるもてなしの環境づくりを進めながら、産業や文化を体験できる参加型の観光振興に取り組んでいます。また、笠間の文化を育ててきた窯業や石材業などの地場産業の担い手の育成を図り、地場産材をまちづくりに活用するとともに、交流や体験の場を通して観光資源としての活用も図っています。

農林業においては、優良農地や森林資源を

保全し、エコファーマーによる循環型農業の推進や生産基盤の整備と充実など、経営の安定化に努めています。また、農産物のブランド化や都市と農村の交流によるグリーンツーリズムの推進を図るなど、観光農業にも力を注いでいます。

一方、笠間駅、友部駅、岩間駅周辺や幹線道路沿線への商業サービスの誘導と、地域ニーズやふれあいのある商業を振興しています。また、茨城中央工業団地(笠間地区)への企業集積を図るとともに、新しい時代に即した工業の振興を図っています。



笠間の観光スポットを巡る周遊バスは友部駅から発着。観光客の利便性に応じている  
A sightseeing bus that takes in all of Kasama's tourist attractions departs from Tomobe Station. This is intended to act as a one-stop service to meet the needs of all tourists.



愛宕山頂付近にある市営宿泊施設「スカイロッジ」では、太平洋まで一望できる景観を楽しみながらバーベキューができる  
Visitors can enjoy a stunning view of Kasama from the city-managed accommodation facilities—Sky Lodge—near the summit of Mount Atago. Here, you can enjoy outdoor pursuits such as barbecue while taking in a view that stretches as far as the Pacific ocean.

### Promoting a vibrant local industry that provides a rich living environment

Kasama, with its rich historical background, arts, and traditional culture, and surrounded by verdant environment and farmland rich in natural resources, is a popular destination for numerous visitors. The city is continuing with efforts to promote a welcoming environment for all visitors, such as providing for volunteer tourist guides who can meet the needs of a diversified tourist sector. The city is also engaged in tourist promotion in the

form of providing visitor participatory sessions in local industry and cultural sites. By encouraging the development of new leaders in the local ceramic and stone working industries who have an interest in fostering Kasama's unique culture, the city aims to use local materials as part of its efforts in urban development. The city also intends to make use of these as tourism resources through exchange and experience in these local industries.

KASAMA'S  
VISION  
02



# 共に支えあい、健やかに暮らせるまちづくり

【健康・福祉】 Working to support one other - a town that promotes healthy living



地域の農業生産者などと連携し、手作り体験を通じて子どもたちに生きた「食育」の機会を提供している  
Working together with local agricultural producers to provide local children with hands on experience at local farms and other locations as part of efforts at food education.

## Respectful care for one another - Realization of a welfare society that allows everyone to live comfortably

With the city's ever-increasing aging population combined with a dwindling birth rate, local residents are becoming increasingly concerned with matters concerning healthcare, health issues, and welfare. Kasama City is planning on the implementation of a regional healthcare system that integrates preventative and therapeutic measures, as well as making improvements to programs such as home nursing, rehabilitation, and integrated programs with healthcare facilities. The city is also looking to implement a system that encourages residents of Kasama to perform their own preventative healthcare, as well as striving to

achieve a social security program that responds to the current state of society. The city plans on focusing on a regional welfare plan that allows all residents of Kasama to live in a safe and healthy environment, as well as improving its plan for nursing care insurance, its old-age health and welfare plan, and a welfare disability plan. This is in addition to developing a sense of mutual support and ideal of normalization among residents through interaction between residents of Kasama and developing human resources and organizations that can make up the core of a regional welfare system.



適切な医療が受けられるよう、医療機関や医師会との連携を強め医療体制を充実させている  
Improving the relationship between healthcare facilities and medical associations in order to provide appropriate regional healthcare.



ひとり暮らしの高齢者を対象に、配食ボランティアが手作り弁当を届けるサービスを行っている  
Volunteer meals-on-wheels service provides homemade meals to elderly residents who are living on their own.



育児に関する情報提供やサークルの育成など、子育て支援が活発に行われている  
Expansion and development of support framework for supporting child care, such as providing information regarding children's education and formation of support networks.

## 支えあう心を大切にし、だれもが安心して暮らせる福祉社会を実現。

**少** 子高齢化が急速に進行し、健康問題や医療、福祉に対する市民の関心はますます高まっています。笠間市では、医療機関との連携や在宅介護・リハビリとの連動を強化し、保健と医療が一体となった地域医療体制の充実を図っています。また、各種健診や保健指導等を実施し、介護予防・疾病予防などに市民自らが取り組める体制を整えるとともに、社会情勢に対応した社会保障制度の充実に努めています。

そして、すべての市民が住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らせるよう、地域福

祉計画をはじめ、介護保険事業計画、高齢者保健福祉計画、障害福祉計画に基づく体制を強化するとともに、地域の人々の交流を通じて、ノーマライゼーションの理念や共に支えあう意識を育み、地域の福祉を支える人材や団体を育成しています。

さらに、本市では、少子化対策事業を市の重点施策と位置づけ、結婚から子育てする親の相談と支援まで、子どもに関わる包括的な福祉体制の充実を図り、子どもたちの安全や健やかな成長を見守る地域づくりと環境を整えていきます。



三世交代交流事業が、地域で暮らす安心やふれあいの喜びを育んでいる  
Three-generation interaction programs are helping to develop local communities that allow families to interrelate and grow.



地域ごとに健康づくり講座やスポーツ・レクリエーション活動が広がっている  
Expansion of sports and recreational activities in each local area, in addition to providing health and fitness seminars.

KASAMA'S  
VISION  
03



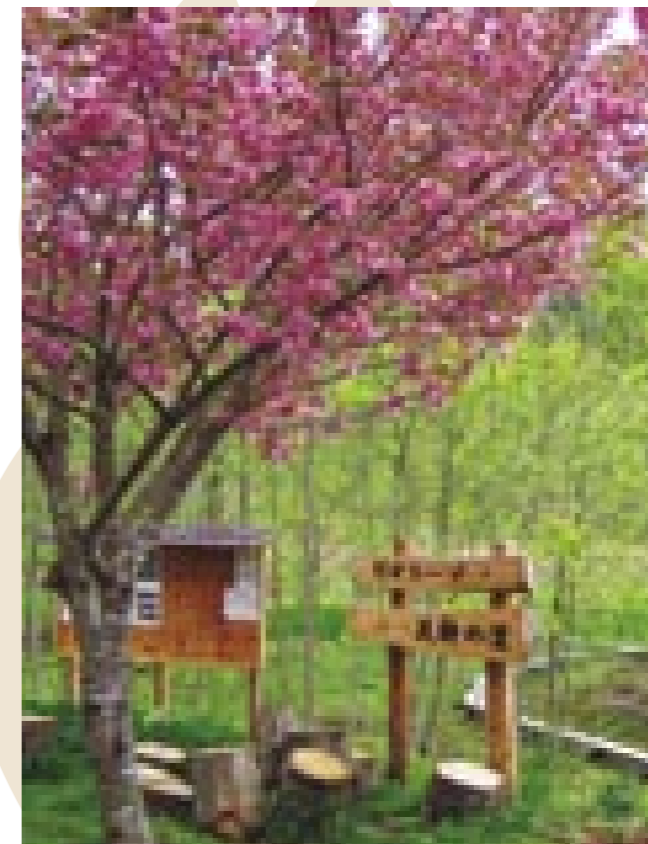
# 自然と共生した安全で やさしさのあるまちづくり

【生活環境】

Urban development that provides a safe and gentle environment  
in harmony with nature



ソメイヨシノや八重桜など桜の種類も豊富な北山公園。春の開花時には、見事な景観が楽しめ、市民の憩いの場となっている。The city's Kitayama Park has a number of different types of cherry tree, including the someiyoshino and the yaezakura double-flowered cherry trees. As these come into bloom in the spring this provides a spectacular sight for residents to enjoy their traditional hanami cherry blossom parties.



市民と「かさま環境を考える会」、そして市が協働で計画した『ビオトープ天神の里』。貴重な生き物や植物観察が楽しめる。Joint development between the city and residents of the "Kasama Environment Society" and the "Biotope Tenjin no Sato." These are intended to preserve the city's wildlife and natural resources for all residents to enjoy.



交通安全意識を高めるための取り組みも定着している。The city is actively engaged in efforts to increase public awareness of traffic safety.

豊かな自然との共生を基本に  
安全とゆとり、やさしさに包まれた環境を創造。

**だ**れにとってもやさしく、安全で利用しやすい生活基盤の整備は、市民すべての願いです。笠間市では、安心して快適に暮らせる生活環境づくりをめざし、身近な生活道路や公園、上水道、生活排水などの整備を進めています。また、治水機能を持ち、水と緑に親しめる場としての河川や水路の保全と活用を計画的に行っています。さらに、地区が有する資源や特性を生かしながら、潤いのある緑の環境づくりに取り組み、魅力あふれる住みよいまちづくりを推進しています。一方、多様化する犯罪を未然に防ぎ、災害にも

強いまちづくりをめざし、消防・防災のほか、防犯、交通安全、消費者行政に至る、さまざまな安全対策と施設の充実・強化に努め、市民生活を取り巻く安心・安全の確保を図っています。さらに、地球温暖化や深刻化する環境問題の解決に向け、市民、事業者、行政が一体となり、環境保全対策や公害防止活動を推進し、環境を大切にす社会形成に努めています。また、廃棄物の適正な処理を進め、ごみの減量化や再資源化、資源リサイクルを促進し、環境負荷の少ない循環型社会をめざしています。

## Creating a safe environment with a slow pace of life, based on co-existence with a rich natural environment.

All residents expect development of urban infrastructure that offers safety, ease of living, and preservation of its natural surroundings. Kasama City aims to develop an environment that provides residents with a safe and comfortable lifestyle, with access to an urban infrastructure of residential roads, parks, water treatment, and sewage. The city also looks to regulate public waterways and implement planning for the safe use of rivers and drainage that manages to retain an aesthetic sensibility for residents to enjoy the region's natural surroundings. While maintaining the area's natural resources and unique characteristics, the city is also engaged in creating a fertile natural

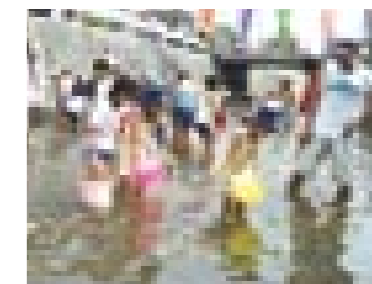
environment and promoting urban development to create a town that is overflowing with attractive features. In addition to these environmental and visual aims, the city of Kasama also looks to prevent the outbreak of crime at an early stage and prepare the city in the event of a natural disaster. In addition to ensuring provisions for fire and accident prevention, the city is also implementing various safety measures in crime prevention, traffic safety, and consumer administration as part of its efforts to realize and strengthen existing facilities and ensure the safety and preservation of residents' lifestyles.



循環型社会形成の推進拠点となっている公共処分場「エコフロンティアかさま」。Creation of "EcoFrontier Kasama," a public waste processing site for formation of a recycling-orientated society.



消防職員・消防団によるその年初の消防訓練・出初め式では日頃の訓練の成果が披露される。New Year ceremony and first training session of the year for the city's fire fighters and fire stations.



「笠間市まちづくり教室」のメンバーが中心となって行っている稲田川への鯉の放流事業。A release program for carp into the Inada River.

KASAMA'S  
VISION  
04



# 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり

【教育・文化】 Urban planning that creates, inspires, and spreads culture



少子化が深刻化するなか、子どもは地域の未来であり、宝。笠間市では、子どもたちを安心して育てられる環境の総合的な整備に力を注いでいる  
Kasama is continuing with its efforts to provide an overall environment that is conducive to children learning in a safe and stable setting.

**Maintaining the environment that produced the city's rich cultural and historical heritage, the city intends to foster a next generation of guardians that continues to develop Kasama's unique culture.**

Realizing a social environment that considers the lives of the city's children allows Kasama to fulfil its plans for significant changes set against increasing internationalization and a declining population affected by low childbirth and aging inhabitants. In bringing up children living in a rapidly changing social environment, Kasama recognizes the need to ensure improved academic ability for all and encourage the development of open-minded children who lead healthy lives. The city also realizes the importance of academic continuity for children up to the elementary school level—an extremely important development phase—and is

continuing with efforts to ensure adequate facilities are in place as well as implementing academic content. This is in addition to helping improve academic ability in homes and local areas and working together with local communities to foster a new generation of regional leaders who can drive the area forward in the future. In looking to meet its residents' increasingly diverse lifestyles, the city also provides a range of public facilities, from libraries and multiuse halls to sports facilities, for use by residents. These are all part of Kasama City's active approach to promoting life long learning.



自分たちの学校を花で飾りたい。そんな児童たちが地域住民と協力して植えた花壇の花々。佐城小学校は「全国花いっぱいコンクール」で内閣総理大臣賞を受賞した  
The city's children hoped to decorate their school grounds with flowers. With the help of these schoolchildren, the city made efforts to plant a number of flowerbeds in the city's schools and received a Prime Minister's Award for its efforts.



## 歴史や文化を育んできた風土を大切にし、次代を担う人づくりを進め、豊かな文化を醸成。

**子**どもたちを取り巻く社会環境は、少子高齢化や国際化の進展で大きな変化を見せています。激動する社会を主体的に生きる子どもたちを育むためには、さらなる学力の向上とともに豊かな心を育て、健康な体づくりが不可欠です。笠間市では、幼児期の豊かな発達や小学校までの学びの連続性を大切に、学校教育内容の充実や施設の整備を進めています。また、家庭や地域での教育力を高め、地域と共に未来を担う青少年の育成に取り組んでいます。

さらに、多様なライフスタイルに対応するため、公民館や図書館、体育施設などを市民

自らが活用し、企画・運営する体制を整え、さまざまな分野にわたる生涯学習機会の充実と積極的な参加を促進しています。また、スポーツやレクリエーションを楽しみ、健康な生活が送れるよう、体育施設の整備や各種大会・教室などの充実を図っています。

一方、郷土芸能や地域文化を継承し、自然や歴史を学ぶ市民活動を支援しながら、多くの人々が笠間の文化に親しめる環境を整備し、国内外へ情報を発信するとともに、国際交流活動の支援と国際理解を促進し、豊かな地域社会の形成をめざしています。



世界的に権威ある音楽アカデミーの開催地として笠間に注目が集まっている  
Kasama has attracted worldwide attention as the location of a music academy with a number of leading world authorities.



伝統文化が薫る笠間では、国際交流活動も活発に行われている  
As a city of rich traditional culture, Kasama has a number of active programs aimed at international exchange.



平成18年3月の3市町合併を記念し、その年から「陶芸の里マラソン大会」がスタートした  
In order to commemorate the merger that led to the formation of Kasama City in March 2006, the city initiated the "Togeji no Sato Marathon."



芸術家・北大路魯山人が住んだ民家を北鎌倉から移築し、魯山人の作品や収集品を展示している  
The house of the famous artist, Rosanjin Kitaoji, was moved to the city from Kamakura, where it now serves to display his works and collected artefacts.

KASAMA'S VISION 05



# 人と地域、絆を大切にした 元気なまちづくり

【自治・協働】 Creating a vibrant city with strong ties between residents and the region



友部地区の休耕田を利用した運動会『どろんびっく』。8月の照りつける太陽を浴びて、子どもたちが田んぼの中を疾走する  
The Dororimpics ("mud Olympics") sports festival is held in fallow fields in the Tomobe district in August, providing an opportunity for children to escape the summer heat by getting covered in mud.

**With respect for every resident, Kasama City looks to achieve a vibrant city through cooperation between citizens and local government.**

Irrespective of age, sex, nationality, or physical disability, Kasama aims to create a living environment that allows independence while taking advantage of the skills and individual personalities of its residents as part of an equal and participatory society. Through providing opportunities for school education and life-long learning, which respect human rights and the participation of both sexes, the city is aiming to achieve a fully participatory society that covers all areas from workplaces to local and regional government.

Through the proactive participation, imagination, effort, cooperation, and collaboration of each resident, the city looks to develop into an autonomous city and region. In order to achieve this, both the city government and residents have to understand each other and work together in providing for a system and rules that allow all parties to participate in creating the new city of Kasama. This is in addition to considering regional issues and fostering an active local community capable of achieving these goals.



10月恒例の『ふるさと友部まつり』。子どもたちが披露する伝統の「さくら太鼓」に拍手喝采がわく  
Holding of the Furusato Tomobe Festival in which local children perform traditional sakura taiko drumming.



笠間駅前通りで6月に行われるハンドメイドフェア。日本全国から作家が集い手作り作品を販売する  
Hand made fair held in front of Kasama train station. This sees artists from all over Japan come to the fair to sell their hand-made products.



地域住民による清掃や花壇作りが積極的に行われている  
The city takes an active approach to encouraging volunteer cleaning and flower-planting activities.

## 一人ひとりを大切に、市民と行政の協働による 元気なまちづくりを实践。

**年** 齢や性別、国籍、障害の有無などに関わらず、だれもが平等に社会参加でき、個性や能力を発揮できることが自立的なまちづくりの基本です。笠間市では、学校教育や生涯学習の機会を通じ、人権尊重や男女共同参画意識の高揚を図り、職場や地域、行政などの場にだれもが参加できる社会の実現をめざしています。また、市民の主体的な参画と創意・努力、協力・協調によって、自主的なまちと地域づくりを実現していきます。そのために、市民と行政が理解と協力を求めながら、まちづくりに参画できる体制やルールを整えて

いくとともに、地域で考え、実行できる元気な地域コミュニティを育成しています。

一方、高度化・多様化する市民ニーズや行政課題に対応していくため、積極的な情報公開と広報・広聴活動を行い、情報の共有化に努めています。また、地域の自治と協働のまちづくりをリードする行政の体制を整え、地方分権時代に即したスリムな行財政運営の確立を図っています。さらには、市民の生活圏や交流圏の拡大を見据え、市民のニーズに対応できる広域的行政を効果的に推進しています。



市政懇談会では、住民の声を市政に反映させようと活発な意見交換が行われている  
City round table conferences provide an opportunity for residents' opinions to be heard and for an exchange of ideas between local citizens and the city government.



地域に根ざした伝統の祭りは、住民の連帯感を深め、コミュニティの和を広げていく  
The city encourages community-based traditional festivals to deepen residents' feeling of community and local harmony.

KASAMA'S  
VISION  
06

## 幅広い交流の和を広げながら 相互理解と発展をめざしています

Aiming for a sense of mutual understanding and growth while developing wide-ranging friendship and harmony.



### ■姉妹都市

**[栃木県矢板市]**

鎌倉時代に笠間城を築いた笠間時朝と、当時の矢板城主、塩谷朝業が親子だった縁から、昭和55年7月に姉妹都市の盟約を結びました。  
In July 1980, Kasama concluded a sister-city agreement with Yaita City in Tochigi Prefecture, based on the designer of Kasama Castle, Kasama Tokitomo, being the son of the ruler of Yaita Castle, Shionoya Tomonari during the Kamakura period.

**[兵庫県赤穂市]**

赤穂浪士の討ち入りで知られる浅野氏は、赤穂転封の前は笠間の藩主でした。その縁から、昭和55年11月、姉妹都市の盟約を結びました。  
Asano Naganori, who was later to play the central part in the story of the famous "47 Samurai," was the feudal ruler of Kasama before inheriting the domain of Ako in western Japan. Based on this relationship, the city concluded a sister city agreement with Ako, Hyogo Prefecture in November 1980.

**■友好都市 [和歌山県田辺市/北海道遠軽町/京都府綾部市]**

合気道の開祖・植芝盛平翁は、田辺市生まれ、遠軽町で開拓のかたわら合気道の基礎を確立、綾部市で合気道の神髄を悟り、笠間市で合気道の道を開き「合気神社」を建立しました。その関わりから平成13年5月、友好都市の盟約を結び、綾部市が加わったことで平成20年2月23日に改めて友好都市宣言書を取り交わしました。

The founder of Aikido, Morihei Ueshiba, was born in Tanabe City in Wakayama Prefecture. After moving to the northern town of Engaru in Hokkaido he first looked to develop aikido, before moving on to Ayabe City in Kyoto Prefecture where he came to understand the essence of aikido. He eventually came to Kasama where he further explored aikido and established the Aiki Shrine. Based on these intertwining relationships, Kasama concluded friendship city agreements with the first two locations in May 2001, with a further agreement being reached with Ayabe in February 23, 2008, at which point the original agreements were renewed.

## 市民の声を行政に反映させながら 豊かで開かれた笠間を創造していきます

Kasama is engaged in the development of an open and prosperous city that reflects its residents' wishes.

議会は、住民の直接選挙による議員をもって構成される地方公共団体の議決機関です。議会の果たす機能は、住民の代表機関として地方公共団体の主要な意思を決定し、長との相互牽制を通じて、民主的かつ能率的な地方公共団体の事務運営を行うことです。平成20年1月1日現在、定数28人の議員で構成されていますが、平成19年12月の議会にて条例が改正され、現議員の任期満了等により行われる次の一般選挙から定数24人となります。

The Kasama City Council is a local decision making body consisting of directly elected representatives of the residents of Kasama. The functions of the assembly are to act as a representative body for residents of the city in deciding matters of importance for the region, and through the head of the assembly and a mutual supervision system, perform administrative tasks in a democratic and efficient manner. As of January 1, 2008, the assembly was made up of a total of 28 members, although the December 2007 meeting of the assembly amended the byelaws to limit this number to 24 members at the next general election by terminating of terms of certain members.



笠間のまちをそぞろ歩けば、行く先々で歴史や伝統に出会えます。そして、そこにあるのは、長い歳月を越えて私たちに語りかける貴重な文化財や史跡の数々。その昔、修験者の修行の地であったことから寺院も多く、仏教信仰に裏付けられた如来像の厳かなたたずまいが、今も静かに市民の暮らしを見守っています。笠間は、太古を巡る歴史散策には事欠きません。

### The Story of Kasama through its Historic Sites

Strolling through the city of Kasama provides visitors with a number of sites of historical interest, such as valuable cultural treasures and historical remains. The area around Kasama was traditionally a training ground for a number of ascetic monks, with the result that many Buddhist temples can be found in the city to this day. Although the number of Buddhist statues dotted around Kasama give the appearance of a solemn and austere region, they even now provide a watchful eye over the peaceful lives of today's residents of Kasama.

# 史跡が語る 笠間の歴史

## KASAMA'S HISTORY

### ◀ 岩谷寺 木造薬師如来立像

Wooden statue of the Bhaijsajyaguru (Yakushi Buddha) in Iwayaji Temple

**国指定重要文化財**

像の背面には「建長五年…(中略)…藤原朝臣時朝」と、珍しく銘が刻まれていて、笠間時朝の発願による造像であることがわかる。椀の寄木造りで金箔、玉眼、白毫、水晶嵌入の立像。

Constructed as part of Kasama Tokitomo's vows, this parquet standing statue is made from cypress wood.

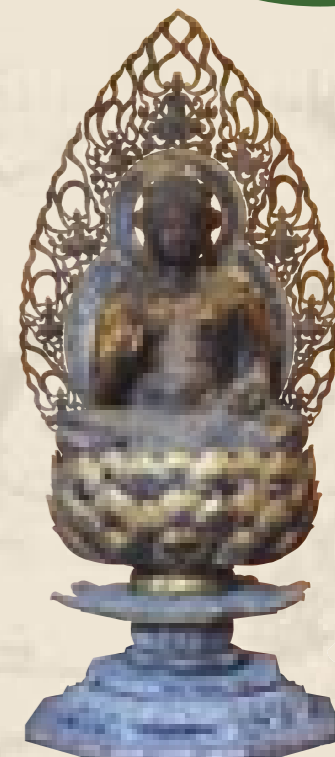
### ▶ 岩谷寺 木造薬師如来坐像

Wooden statue of the Bhaijsajyaguru (Yakushi Buddha) in Iwayaji Temple

**国指定重要文化財**

ほぼ等身大の本像は、螺髪、肉髻、衲衣を着け、左手は掌を上にして薬壺をのせ、右手はまげ掌を前にし、左足を上にして結跏趺坐している。優しい表情と穏やかな彫風は平安末期の特徴。

Characteristic of the later Heian period, this almost life-size sitting statue has a gentle expression and calm appearance.



KASAMA'S HISTORY  
史跡

悠久の時に  
思いをはせて  
Reflections on Eternal History



㊦ 楞嚴寺山門 国指定重要文化財

Ryogonji Temple Gateway

禅宗様式の四脚門で、支柱を高くのぼし、柱間には扉や壁などがなく、すべて吹き抜けになっているのが特徴。建造は室町中期で、当時の様式を残した優れた山門となっている。

Constructed in the middle of the Muromachi period (c.1336 to 1573), this four-sided Zen temple style has high column supports that give off a characteristic vaulted effect.

㊦ 西念寺

Sainenji Temple

市内稲田の地に本拠を構え、布教に努めた親鸞聖人。そのため、稲田は浄土真宗発祥の地とされ、ここ西念寺は別格本山として今なお信仰の拠り所となっている。

The Inada area, which contains Sainenji Temple, acted as the geographical base for the famous priest Shinran in spreading his message. This resulted in Inada becoming the birthplace of the True Pure New Land Sect (Jodo Shinshu), with Sainenji Temple even now being affiliated as a special head temple of the sect.



㊦ 歴史民俗資料館 国登録有形文化財

Kasama Museum of History and Folklore

旧穴戸町役場庁舎をそのまま利用した資料館は、国登録の有形文化財。1階は考古資料や筑波海軍航空隊の遺品が展示され、2階には、蓄音機や昭和初期の懐かしい自転車などが展示されている。

This former town hall of Shishido is now used as the city's folklore museum. The first floor contains archaeological findings from the region, while the second floor hosts a display of nostalgic household items from the early Meiji period.



㊦ 楞嚴寺 木造千手観音立像

Standing Multi-armed Deity in Ryogonji

国指定重要文化財

像の背面には、笠間城主笠間時朝の発願であることが刻銘されており、建長4年(1252年)の銘から鎌倉中期の作とされる。桧材の寄木造りで、漆箔を置き、玉眼嵌入の立像。

Crafted in the middle of the Kamakura period, this parquet standing statue made from cypress wood was offered as part of the feudal lord of Kasama's, Kasama Tokitomo, vows.



㊦ 常陸国出雲大社

Izumo Taisha Shrine Hitachi Branch

出雲大社からの分霊を鎮座させた常陸国出雲大社は、島根の出雲大社と長野の諏訪大社を直線で結んだ延長上に位置する。農業、漁業、医療、そして縁結びの神として信仰される。

Izumo Taisha Shrine Hitachi Branch is a branch of the Izumo Taisha Shrine in Shimane Prefecture. It is renowned among worshippers who come to pray for success in agriculture, fishing, medicine, and marriage.



㊦ 笠間城跡

Kasama Castle Ruins

佐白山頂に築かれた笠間城は鎌倉時代初期に築城され、約650年の間、笠間歴代領主の居城となっていた。明治維新の廃城以降、長い歳月を経た現在でも、外壁跡や巨石で組まれた石垣などが残っている。Built on the summit of Mount Sashiro in the beginning of the Kamakura period, Kasama Castle was the home of the feudal rulers of the Kasama district. Although destroyed in the Meiji Restoration (c.1868), the remains of the castle walls still stand today for visitors to experience.

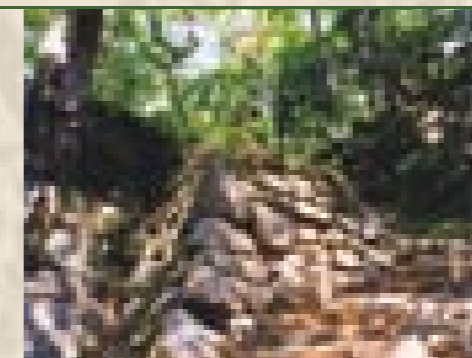
㊦ 弥勒教会 木造弥勒仏立像

Standing Maitreya (Miroku) wooden statue

国指定重要文化財

衲衣の衣文は中国宋朝の様式と鎌倉彫刻が確立された13世紀中ごろの典型を示す。桧材の寄木造り、漆箔、玉眼嵌入の立像で宝治元年(1247年)笠間時朝の初願によると書銘されている。

Mid-13th century Buddhist statue typical of Kamakura period sculpture. Wooden statue made from cypress wood.



㊦ 穴戸城址土塁

Shishido Castle Ruins and Earthworks

秋田実季が国替によって穴戸藩主となり、在城した土塁の一部で、本丸跡北側に幅5.4m、高さ1.5mの大きさで残っている。北側には堀があり、北の丸が続いていた。

Remains of the castle that was home to the local feudal ruler. Only part of the earthworks now remains.



㊦ 笠間稲荷神社本殿 国指定重要文化財

Main Shrine of Kasama Inari Shrine

五穀豊穡・商売繁昌、招福を祈願する参拝客が年間350万人も訪れる日本三大稲荷のひとつ。銅板葺き・権現造りの本殿には「三頭八方睨み龍」など見事な彫刻が施されている。

Visited by up to 3.5 million annual worshippers, this is one of Japan's big three Inari shrines. The main shrine boasts a number of impressive carvings on the wooden building.



㊦ 塙家住宅 国指定重要文化財

The Hanawa House

18世紀中期に建造された「分棟型」の民家。居室と土間が独立しており、内樋を掛けて雨水を流すようになっている。本州の太平洋岸内陸部にあるものとしては貴重で県内では唯一のもの。

Built in the middle of the 18th century, this traditional house is an example of buntogata (split-level) architecture in which the unfloored service area and raised living area are separated.

㊦ 片庭ヒメハルゼミの発生地 国指定天然記念物

Himeharuzemi

片庭ヒメハルゼミの発生地は、市内片庭の楞嚴寺裏山のシイの大木を中心とした林と、そこから1km余り離れた八幡神社を囲むシイの森の2か所で、昔からその場所は変わらないといわれている。

The forests of chinquapin (chestnut) surrounding the Ryogonji Temple and Yawata Shrine are designated as natural monuments as the birthplace of the Himeharuzemi, or Euterpnosia chibensis cicada.





六所神社例大祭  
Rokusho Shrine Annual Festival

毎年11月の第1金・土・日の3日間に行われる六所神社例大祭は、その年の五穀豊穡を祝う伝統の祭りです。氏子らが幌獅子・山車を繰り出し、深まる秋のまちに賑わいをもたらします。  
Every November the city's Rokusho Shrine holds its festival, a traditional event held to give thanks for the harvest. This sees the streets filled with Horojishi lion dancers and floats, creating a vibrant festival in the middle of autumn.



夏祭り Summer Festivals

7月から8月は、笠間のまち全体が祭り一色に染まる季節です。笠間地区、岩間地区、友部地区、それぞれの郷土色に溢れた多彩なイベントは、伝統と現代が融合し、笠間の夏を彩ります。  
During the period from July to August, Kasama becomes a city swathed in the colorful bunting of festivals. Each of the Kasama, Tomobe, and Iwama districts host their own unique summer festival, which bring together tradition and current customs to provide a range of festivities that bring out the local color of each area.



伝統を受け継ぎ  
郷土を彩る

Events showcasing preservation of local traditions

悪態祭  
Akutai Matsuri

旧暦の11月14日、飯綱神社境内に天狗に扮した13人の成年男子が集い、参拝者がその天狗に向かって悪口を浴びせて厄払いをします。この時だけはどんな悪態をついても無礼講。日本三大奇祭のひとつです。  
This unusual festival is held every year within the confines of the city's Izuna Shrine. Here, 13 boys dress up as tengu goblin are subject to insults and curses from the surrounding onlookers. This provides a unique opportunity for participants to use bad and insulting language and is regarded as one of Japan's three most eccentric festivals.



岩間烏呼ばり  
Iwama Karasu Yobari

農耕儀礼のひとつで、土地を清め、山ノ神を祀って豊作を祈願する儀式。サイコロのように刻んだ餅を撒いて鳥を呼び、稲の作柄を占う。2月11日早朝、岩間地区のたんぼで演じられる。  
On February 11, this agricultural ritual is held in the early morning in the region's rice fields as farmers' land is blessed to pray for a good harvest. Rice cakes in the shape of dice are dispersed for birds to come and take as part of prayers for a bountiful crop.



神事流鏝馬  
Yabusame Shrine Ritual

農業の豊凶を占う笠間稲荷の神事・流鏝馬は、馬上から放った矢の命中度から農作物の豊凶を占う伝統文化であり小笠原流の古儀・古術。菊まつり最盛期の11月3日に恒例神事として行われている。  
One of the rituals performed at the Kasama Inari Shrine, *yabusame*, involves mounted archers shooting arrows to targets as part of a traditional harvest festival. This ceremony is held every November 3 at the height of the city's Chrysanthemum Festival.



郷土をつくった先人、  
ゆかりの人々

People who made Kasama and People Connected to the City

親鸞 [Shinran] 1173年-1262年



鎌倉時代初期の日本の僧侶で、浄土真宗の開祖とされます。没後には、皇室から見真大師(けんしんたいし)の諡号を追贈されています。笠間市稲田は親鸞が本拠を構えたことから、浄土真宗発祥の地とされ、別格本山・西念寺があります。  
A Buddhist monk active at the start of the Kamakura period, Shinran is known as the founder of the True Pure New Land sect of Buddhism. Due to Shinran establishing the base of his sect in Kasama's Inada district, this area became known as the birthplace of the True Pure New Land sect (*Jodo shinshu*). One of the sect's separate head temples, Sainenji Temple, is located here.

小野 友五郎 [Tomogoro Ono] 1817年-1898年



笠間藩士の五男で、類まれな算術の才能を買われ24歳で幕府から江戸屋敷勤務を命ぜられました。幕府では暦作りのための測量に力を発揮し、1860年(万延元年)には勝海舟と「咸臨丸」で米国へ渡航。帰国後は勘定奉行にまで出世しました。  
The fifth son of a feudal lord of the Kasama region, Tomogoro Ono was 24 when ordered to work at the Shogunate's Edo (present-day Tokyo) Compound. Here he was engaged in various measurements involved in the creation of a calendar. In 1860, Ono sailed to the United States on the warship Kanrin Maru. Following his return to Japan rose to become a chief financial official of the government.

山下 りん [Rin Yamashita] 1857年-1939年



学生時代にロシア正教宣教師ニコライの洗礼を受けて入信。ペテルブルグの修道院でイコン画(聖画)を学び、帰国後はイコン画家として明治、大正にかけて建てられた聖堂に多くのイコン画を描き、大正7年、笠間に帰郷し晩年を過ごしました。  
Rin Yamashita was baptized into the Russian Orthodox Church as student. She would go on to study iconography at a St. Petersburg monastery, and following her return to Japan would paint a number of icons at churches across Japan that were built throughout the Meiji and Taisho periods (1868 to 1926). Her last years were spent in her hometown of Kasama.

木村 武山 [Buzan Kimura] 1876年-1942年



狩野派の奥義を学び、明治39年に岡倉天心、横山大観らと茨城県北端の五浦海岸に移り住み、創作活動に励みました。「阿房劫火」で第1回文部省美術展覧会に入賞し、日本画家の第一人者に。高野山金堂壁画や笠間の大日堂の壁画も手掛けました。  
Buzan Kimura was a noted artist who studied the mysteries of the Kano school of painting and whose *Abogoka* was awarded a prize at the first Education Ministry's Art Exhibition. He also participated in the painting of murals in the main hall on Mount Koya and at Kasama.

植芝 盛平 [Morihei Ueshiba] 1883年-1969年



合気道の開祖で、昭和17年に笠間(旧岩間町)に移住。体を鍛え、技を磨くことで、平和と愛の力、すなわち真の和を求めようとする合気の精神を会得しました。合気道は現在、世界中に広がっています。  
Known as the founder of *aikido*, Morihei Ueshiba moved to Kasama (then Iwama) in 1942. While undergoing physical training, he honed his skills both mentally and spiritually as he sought to acquire genuine harmony through obtaining the spirit of *aiki*.

高野 公男 [Kimio Takano] 1930年-1956年



昭和の歌謡詩人として数々の名曲を生み出しました。作詞・高野公男、作曲・船村徹の名コンビで作られ作品は多く、昭和30年に大ヒットした『別れの一本杉』は、多くの日本人に親しまれました。笠間工芸の丘には、その歌碑があります。  
Kimio Takano was a famous Showa-era singer and poet who produced a number of works with the songwriter Toru Funamura. Their 1955 hit song, "*Wakare no ippon sugi*," was popular across Japan.

坂本 九 [Kyu Sakamoto] 1941年-1985年



「九ちゃん」の愛称で親しまれた昭和を代表する人気歌手。『上を向いて歩こう』は、日米でミリオンセラーとなりました。戦時中、笠間の親戚宅に疎開して多感な少年時代を過ごした縁で、結婚式は笠間稲荷神社で挙げ、市内をパレードしました。  
Kyu Sakamoto is recognized as the most famous singer of the Showa era, with songs such as the million-plus best seller "*Ue o muite arukou*" (released in the U.S. as *Sukiyaki*). Sakamoto was evacuated to a relative's house in Kasama during the war and his boyhood spent in the region brought him back to Kasama for his wedding at Kasama Inari Shrine where he was honored with a parade.

松井 康成(美明) [Kousei Matsui] 1927年-2003年



陶芸家。国の重要無形文化財「練上手(ねりあげで)」保持者で人間国宝。練上手という技法を大成させ、伝統技術を基盤に、個性豊かな現代の陶芸の在り方を提示しました。戦時中に笠間へ疎開。浄土宗月栄寺の第23住職でもありました。  
Kousei Matsui was recognized as a national living treasure for his work on marbled ware as an important intangible cultural heritage. By integrating ceramic art such as marbled ware into a recognized technique, Matsui used this as the basis for to develop a traditional technique for creating works with unique individuality.



# 笠間 彩 時記

自然環境に恵まれ、古い歴史をもつ笠間には、季節ごとの祭りや伝統行事が受け継がれてきています。守り伝えてきたのは、とりもなおさず郷土に誇りを持ち、愛着をもって生活してきた歴代の市民、そして、今を生きる笠間の人々です。

## Kasama Annual Events

Blessed with a wonderful natural environment and a rich history, the city of Kasama continues to hold a number of seasonal festivals and traditional events every year. Preserving these traditional events is a source of pride for the city's residents, fostering new generations with pride in their hometown and lifestyles and who continue to make Kasama the living city with a rich history it is today.

### 8月 | AUG 笠間のまつり ◀

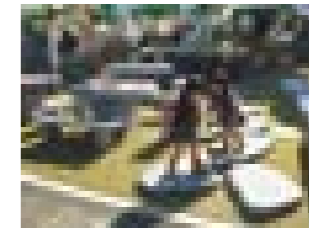
Kasama Festival

8月中旬に開催される笠間の夏の一大イベント。初日の灯籠流しで幕が開き、最終日には市民手作りのねぶたで跳ね人が踊り、光のオブジェと神輿の大パレードで、市内中心街は熱気と歓声で盛り上がります。  
Kasama's biggest summer event, the Kasama Festival, is held every year in the middle of August. The first day is marked by the floating of lighted lanterns, followed by a parade of residents' hand made nebuta lanterns and miniature shrines, with the central streets of the city alive with activity.



### 11月 | NOV 匠のまつり・ストーンフェスティバル

Takumi Festival / Stone Festival



人気の高い笠間焼の陶器市のほか、稲田みかげ石などの特産物や農産物などの展示販売会が笠間芸術の森公園で大々的に開催されます。  
In addition to the popular Kasama-yaki ceramic ware market, a further event is held at the Geijutsunomori Park event square.

### 1月 | JUN 初詣【常陸国出雲大社】

New Year Shrine Visits : Izumo Taisha Shrine



「だいこくさま」の名で親しまれる大国主大神を祀る出雲大社。全長16mもある拝殿の大注連縄(しめなわ)の下には、縁結びや開運を祈る人々が訪れます。  
Izumo Taisha enshrines the deity Okuninushi no Okami, popularly known as Daikokusama. Underneath a giant rope with a total length of 16 meters, a stream of visitors comes to pray for their marriage prospects and good luck in the coming year.

### 1月 | JUN 初詣【笠間稲荷神社】▶

New Year Shrine Visits : Kasama Inari Shrine



無病息災や商売繁昌を願い、初詣の参拝者数だけでも約80万人。茨城県内初詣参拝者数第1位を誇るお稲荷さんの境内は元旦から賑わいを見せます。  
This ranks the shrine as the most popular destination within Ibaraki Prefecture for New Year shrine visits, with the shrine being busy from the very first day of the year.

### 4月 | APR つつじまつり ▶

Rhododendron Festival

つつじの開花は、笠間の春の風物詩。25種類、8500株のつつじの花が咲き誇る4月中旬から5月中旬の「笠間つつじ公園」には、県内外から多くの観光客が訪れます。園内では野点や琴の演奏も行われます。  
This festival sees over 8500 rhododendron bulbs from 25 different varieties planted in the Kasama Rhododendron Garden, coming into bloom from mid-April to mid-May and attracting visitors from all over Ibaraki Prefecture and the rest of Japan.

### 4月 | APR 北山公園 桜まつり

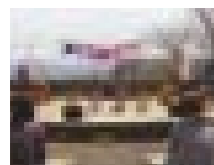
Kitayama Park Sakura Festival



ソメイヨシノやシダレザクラ、サトザクラ(八重)など、園内に約1,300本の桜が開花。期間中はライトアップも行われます。  
During the cherry blossom season, the park's 1300 Someiyoshino and weeping cherry trees attract numerous visitors. The festival also sees the park lit up at night.

### 4月 | APR あたご山 桜まつり

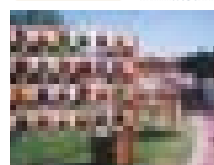
Mount Atago Sakura Festival



標高306メートルの愛宕山山頂近くにある桜広場がメインステージ。登山道沿いのサクラと合わせ、ハイキング客の目を楽しませてくれます。  
The main focus of this festival is an area of cherry trees located near the summit of Mount Atago. Hikers heading to the top can take in the cherry trees in full bloom as they line the route to the summit.

### 5月 | MAY 陶炎祭(ひまつり)

Himatsuri



ゴールデンウィークに開催される一大陶器市。会場の笠間芸術の森公園には200人以上の陶芸家や窯元の作品が並び、夜はコンサートも行われます。  
Kasama turns into a city of ceramic and pottery works in Golden Week in late April and early May. Over 200 ceramic artists and potters bring their work to the city's Geijutsunomori Park.



### 8月 | AUG いぎよい 十六夜まつり ▶

Izayoi Festival

笠間芸術の森公園にほど近い「陶の小径」をステージにして、陶芸家や窯元たちが創った約400本の陶の筒に灯がともります。夏の夜を幻想的に演出する筒灯りを楽しみに、毎年多くの人が訪れています。  
This festival displays up to 400 small diameter ceramic tubes that display light, which have been made by local ceramic artists and potters. Visitors can enjoy the magical atmosphere given off by these tubes, with this festival proving to be a particular popular annual event.

### 8月 | AUG 岩間夏まつり

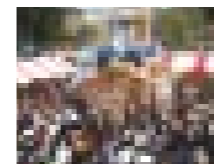
Iwama Summer Festival



岩間囃子など、岩間地区に古くから伝わる伝統芸能が披露され、岩間駅前には山車や神輿のほか、ちりから踊りの列が続きます。  
This festival sees the Iwama district's traditional arts and culture on display, with a parade of miniature shrines and floats in front of Iwama Station, in addition to displays of the region's Chirikara dance.

### 10月 | OCT ふるさと友部まつり

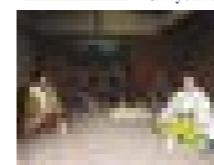
Furusato Tomobe Festival



友部地区を盛り上げる秋の大イベント。模擬店や物産店には家族連れが並び、公開抽選会や歌謡ショー、花の展覧会など催しものも多彩です。  
One of the biggest summer events is this festival held in the Tomobe district of the city. Refreshment booths and stalls selling local produce line the streets, proving popular among families.

### 10月 | OCT 笠間の菊まつり

Chrysanthemum Festival



笠間稲荷神社を中心に、街は色とりどりの菊の鉢植えて演出されます。その数なんと1万鉢。会期中には菊花品評会や流鏝馬なども行われます。  
Centred on Kasama Inari Shrine, the surrounding streets come alive with over 10,000 chrysanthemums in bloom. The festival also sees events such as the yabusame shrine ritual.



# 数字でわかる モノ知り笠間塾



壮大なドラマを今に伝える史跡を巡り、神社・仏閣で手を合わせる人々。特産物や工芸品など、帰りがけのお土産選びも楽しいひとときだ。そんな茨城県屈指の観光地である笠間を、いろいろな数字から追ってみよう。

A location where visitors can take in the scope of the city's past through historical ruins, or bring their hands together in prayer at shrines and temples; a place for tourists to find a special souvenir to take home, from local produce to arts and crafts; one of the most popular tourist locations in Ibaraki Prefecture. Lets find out more about Kasama through numbers.



笠間市は茨城県屈指の観光先進都市。



## Q1 26万8,000人

### 陶炎祭(ひまつり)の来場者数

ゴールデンウィーク期間中に開催される笠間焼のフェスティバル「陶炎祭」には、全国から多数の焼き物愛好家が訪れる。食べ物の模擬店やコンサートなど企画も多彩だ。

The number of ceramic and pottery enthusiasts who visit the city during Golden Week to take part in the *Himatsuri* Festival showcasing the region's *Kasama-yaki* ceramics.



## Q2 8,500本

### つつじ公園を彩るツツジの総数

毎年4月中旬から5月中旬にかけて開花するツツジを愛でる「笠間つつじまつり」。会場のつつじ公園では、霧島、日の出、久留米など約25種類のツツジが一斉に花開く。

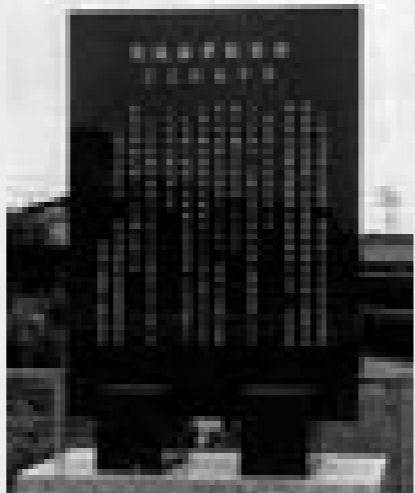
The Kasama Rhododendron Festival, held every year from mid-April to mid-May, sees the blossoming of around 25 different varieties of rhododendron.

## Q3 73名

### 太平洋戦争で戦死した筑波海軍航空隊員の人数

太平洋戦争が戦雲急を告げるなか、筑波海軍航空隊(旧友部町)でも神風特攻隊が組織された。昭和19年12月から20年6月までに特攻で亡くなった若い命は73名。

In the midst of the Second World War, the Tsukuba Navy Air Group (operating from the then Tomobe Town) formed a Special Attack Corps (popularly known as kamikaze), with several young pilots sacrificing their lives.



## Q4 6トン



### 常陸国出雲大社の巨大注連縄の重さ

「だいこくさま」で親しまれている出雲大社の拝殿頭上にくくられている注連縄は、全長16メートルと巨大だ。投げたさい銭が大注連縄に挟まると幸運とも伝わっている。

The giant rope on the roof of building enshrining the Daikokusama deity in the Izumo Taisha Shrine is 16 meters long.



## Q6 300万人

### 笠間稲荷神社の年間参拝者数

創建から1350年もの歴史もつ笠間稲荷は、歴代の笠間藩主も崇敬してきた伝統のお稲荷さま。関東ばかりか全国からも多数の参拝客が訪れている。

Kasama Inari Shrine was first built over 1350 years ago, with worshippers coming from all over the Kanto region and across Japan.

## Q7 9(九)

### JR 友部駅ホームの発車を告げるメロディは坂本九のヒット曲

1番線は「上を向いて歩こう」、2番線は「明日があるさ」、3・4・5番線は「幸せなら手をたたこう」。どの曲も人々の耳に馴染みのある楽しいリズムだ。

With hits such as *Ue wo muite aruko*, *Ashita ga arusa*, and *Shiwase nara te wo tatako*, Kyu Sakamoto's are known throughout Japan for their pleasing rhythm and easy to remember lines.



## Q8 13人

### 愛宕山に棲んでいたと伝わる天狗の数

愛宕山が岩間山といわれていた時代、ここは天狗の修験道場だったとか。羽団扇をもって雲に乗り、大空を飛んで妖魔を打ち払って人々の幸せを守ってくれたという。

Tengu goblins were said to use this area to practice the Shugendō religion. Using a feather fan they would ride clouds and protect the happiness of people by driving off evil spirits.

数字でわかる  
モノ知り  
笠間塾



笠間市は、人と自然が響き合う文化交流都市。



**Q9 10万人**

**菊まつりの入場者数**

平成19年に100回目を迎えた笠間の菊まつりは、日本で最古の菊の祭典とされる伝統ある祭り。笠間稲荷神社境内や周辺施設には毎年大勢の観光客が訪れて賑わう。

The Kasama Chrysanthemum Festival celebrated its 100th anniversary in 2007. This marks this traditional event as Japan's longest running chrysanthemum festival.

**Q11 33人**

**茨城県陶芸美術館に作品展示されている人間国宝作家の人数**

陶芸のすばらしさと楽しさがわかる美術館として人気の陶芸美術館は、「伝統工芸と新しい造形美術」をテーマとし、人間国宝の作品の多さでも定評がある。

The popular Ibaraki Ceramic Art Museum, located in Kasama, allows visitors to enjoy ceramic art, with a number of famous works by some of Japan's Living National Treasures.



**Q10 1万2,000トン**

**笠間で採掘される稲田石の年間採掘量**

江戸時代から笠間で採掘・加工されている黒雲母花崗岩は通称「稲田石」と呼ばれ、建築用石材から墓石まで幅広く利用されている。採掘量の多さでは日本最大級の産地だ。

Black granite known as inadaishi has been mined and processed in the Kasama region since the Edo period. The largest such granite mine in Japan is located in Kasama.

**Q12 17点**

**陶の杜で出会うオブジェの数**

笠間芸術の森公園内の「陶の社（マジシャンクレーの社）」はヒノキの森の中。ここには、「土の魔術師」たちが創った楽しくも不思議なたくさんの陶製オブジェがある。

Magical clay found in the woods of Kasama's Geijutsunomori Park. Visitors can find a number of weird and wonderful objects made from ceramic.



**Q13 500kcal**



**楽食フルコースのカロリー数**

食事制限がある人でも、調理の仕方や盛り付けの工夫で通常メニューと変わらない食の楽しさを味わえる食事が「楽食」。笠間市ではお年寄りと家族が共に食を楽しめる楽食を推進中。

The city is currently promoting efforts to encourage *rakushoku* or enjoyable eating that encourages healthy eating, even in ready meals, while retaining good taste and an appetizing appearance.

**Q15 50棟**

**笠間クラインガルテンのラウベの棟数**

宿泊しながら週末の農園ライフを体験できる笠間クラインガルテン。都会生活では味わえないスローライフの拠点は、ラウベと呼ばれる簡易宿泊施設だ。

The center of the Kasama Kleingarten, where residents can enjoy a rural lifestyle, are the laube - simple accommodation for family and friends.



**Q16 13人**

**笠間焼を継承する伝統工芸士の人数**

日本が誇る伝統工芸の分野で、高度な技術と技法を保持すると認められた伝統工芸士。焼き物の里・笠間では、13名の伝統工芸士が卓越した技と感性を発揮している。(平成20年4月現在)

Kasama is home to craftsmen that make use of the latest techniques and advanced methods. A total of 13 traditional craftsmen have been recognized by the city for their skill in employing both ability and sensitivity. (As of April 2008)

数字でわかるモノ知り笠間塾

**Q14 20%**

**笠間市で栽培される栗の県内作付け面積割合**

茹でよし、焼いてよし、ケーキや羊かんに加えてまた美味の栗。全国一の生産量を誇る茨城県の中でも最大の栽培面積をもつ笠間では、日本一をめざして「栗まつり」なども開催している。

Ibaraki Prefecture is Japan's leading producer of chestnuts, with the largest area under propagation in Kasama. This is reflected in events such as the city's Chestnut Festival.



**Q17 90ヶ国**

**合気道が普及している国の数**

合気道の開祖・植芝盛平翁が移り住み、技を究めて合気神社を建立した笠間は、合気道の聖地。合気道は、現在、世界中に広まり、人種と国境を越えて親しまれている。

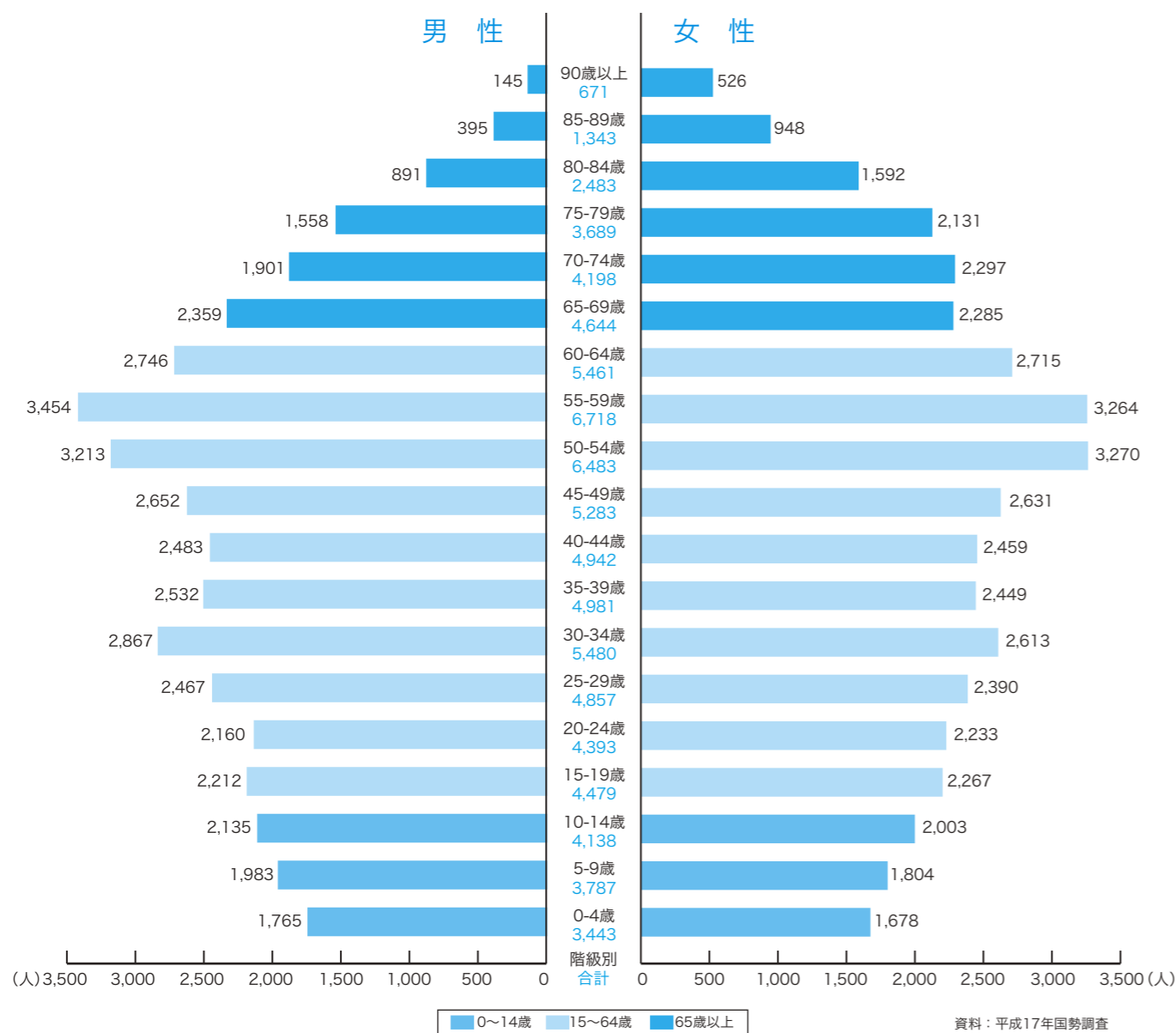
Kasama is home to the Aiki Shrine - dedicated to furthering spiritual awareness of *aikido* and was built following the move to Kasama by the movement's founder, Morihei Ueshiba. The city has since become known all around the world as the home of *aikido*.



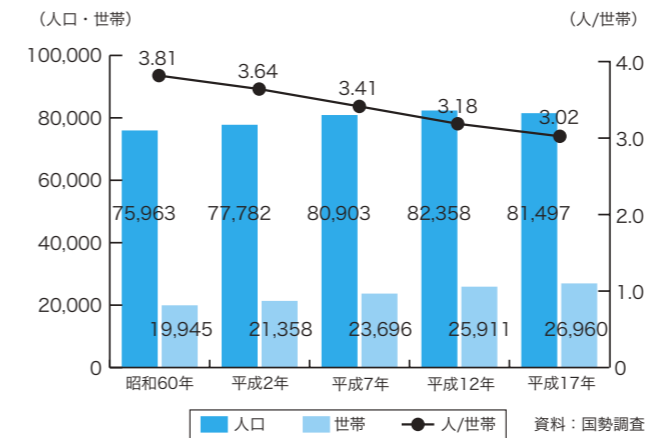
# Kasama City Guide The Data File

# 資料編

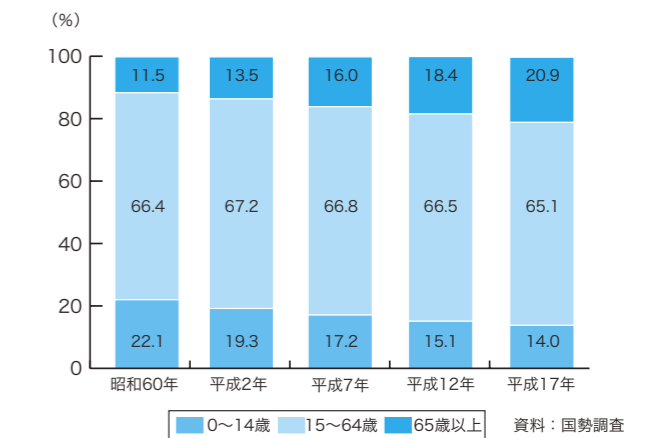
## ■ 年齢階級別人口



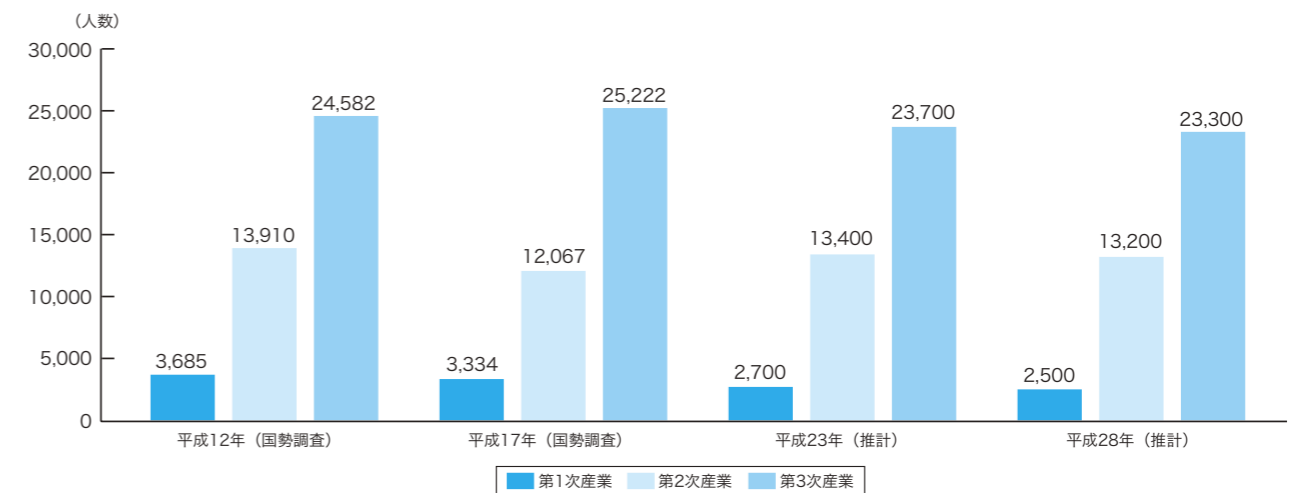
## ■ 常住人口・世帯数の推移



## ■ 年齢3階層別人口比の推移

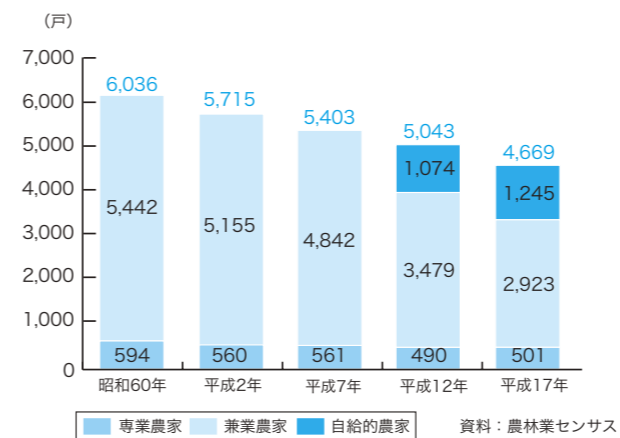


## ■ 産業別就業者人口

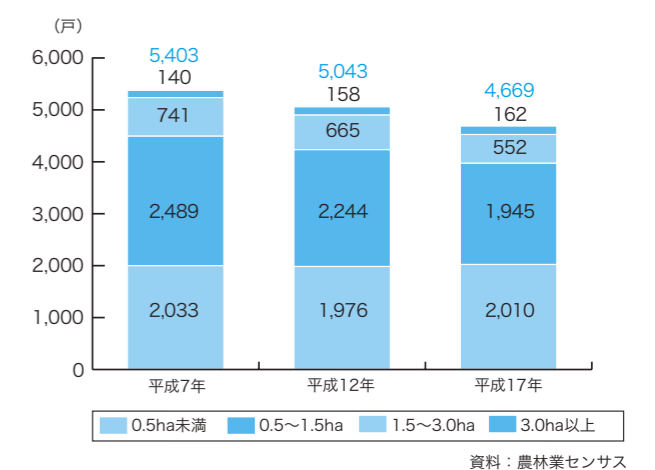


## 農業の動向

### ■ 農家戸数の推移

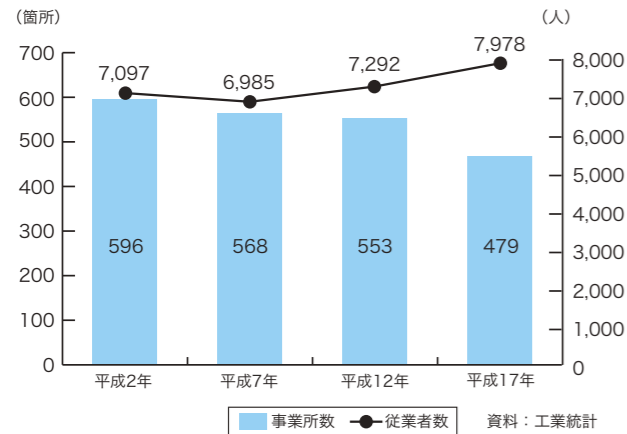


### ■ 経営耕地規模別農家数

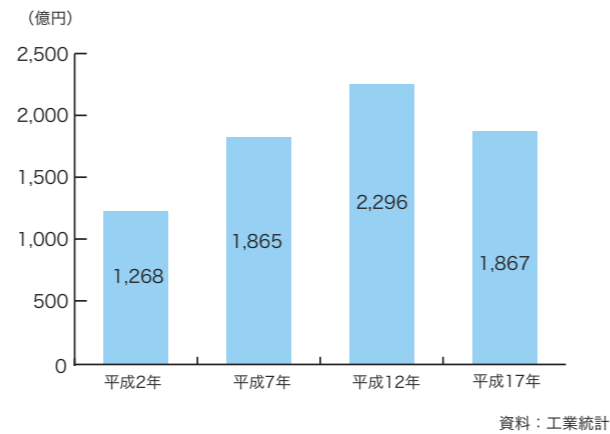


工業の動向

■ 事業所・従業者数の推移

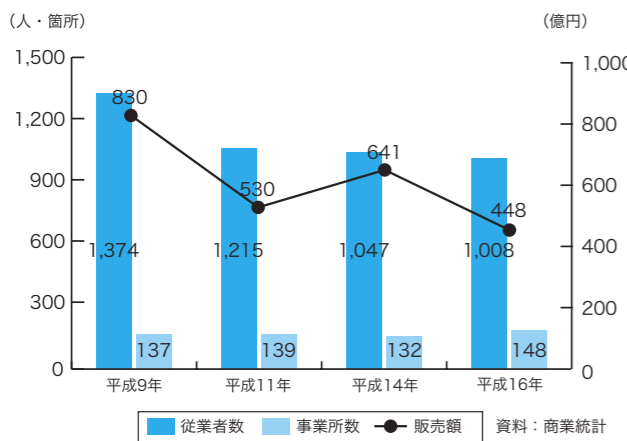


■ 製造品出荷額の推移

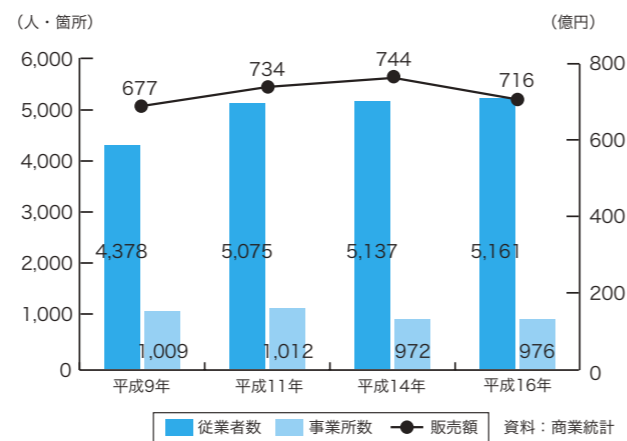


商業の動向

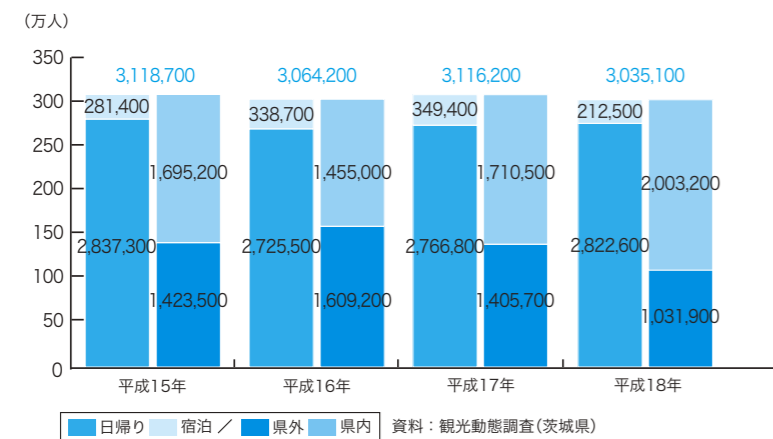
■ 卸売業の推移



■ 小売業の推移



■ 入込観光客数



■ 公民館の活動状況

(平成19年度)

	笠間公民館	友部公民館	岩間公民館	計
自主活動・クラブ活動団体数	50団体	141団体	62団体	253団体

資料：各公民館

■ 幼稚園就園児の状況

(平成19年5月1日現在、単位：人)

区分	学級数	3歳児	4歳児	5歳児	総数	教職員数
笠間市立笠間幼稚園	6	45	57	63	165	9
笠間市立稲田幼稚園	4	24	20	32	76	6
あゆみ幼稚園	4	20	18	22	60	9
こじか幼稚園	7	51	54	60	165	12
ともべ幼稚園	11	80	101	90	271	20
さくら幼稚園	9	61	79	93	233	16
すみれ幼稚園	8	62	66	75	203	18
岩間第一幼稚園	8	42	48	48	138	10
ドレミ幼稚園	3	15	25	20	60	6
計	60	400	468	503	1371	106

資料：学務課

■ 小学校の学校別状況

(平成19年5月1日現在、単位：人・級)

学校名	学級数	生徒数							75条の学級	計	教職員数
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生				
笠間小学校	22	120	102	105	93	90	100	13	623	30	
東小学校	6	6	9	11	10	16	15	0	67	11	
佐城小学校	7	21	29	28	24	34	33	4	173	13	
箱田小学校	7	25	23	31	22	24	25	3	153	12	
南小学校	9	37	46	35	41	50	26	0	235	14	
稲田小学校	13	46	42	42	45	41	62	2	280	18	
宍戸小学校	13	46	50	59	67	67	45	3	337	18	
友部小学校	25	118	131	102	127	131	122	5	736	33	
北川根小学校	14	41	62	44	46	69	52	9	323	22	
大原小学校	8	29	32	42	33	41	36	0	213	14	
友部第二小学校	17	58	61	78	81	84	85	6	453	24	
岩間第一小学校	14	66	56	58	50	68	63	3	364	21	
岩間第二小学校	7	29	37	34	40	27	45	0	212	13	
岩間第三小学校	14	52	50	62	46	65	54	2	331	21	
計	176	694	730	731	725	807	763	50	4500	264	

資料：学務課

■ 中学校の学校別状況

(平成19年5月1日現在、単位：人・級)

学校名	学級数	生徒数					75条の学級	計	教職員数
		1年生	2年生	3年生	計				
笠間中学校	14	149	145	148	4	446	30		
東中学校	3	29	22	26	0	77	13		
南中学校	3	36	37	26	0	99	14		
稲田中学校	7	47	55	63	4	169	16		
友部中学校	19	225	192	221	6	644	42		
友部第二中学校	13	145	145	151	4	445	26		
岩間中学校	17	161	172	168	5	506	31		
計	76	792	768	803	23	2386	172		

資料：学務課

■ 図書館の利用状況

(平成18年度)

区分	蔵書数	年間貸出冊数	年間入館者数
笠間図書館	146,563冊	550,463冊	224,167人
友部図書館	243,215冊	407,001冊	202,027人
岩間図書館	8,236冊	21,274冊	7,971人
計	398,014冊	978,738冊	434,165人

資料：各図書館

■ 体育施設の利用状況

(単位：人)

施設名	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
市民体育館	43,883	44,126	34,440	41,224
市民プール	3,045	4,914	4,487	3,538
笠間武道館	17,980	16,209	17,119	16,344
総合公園市民球場	12,805	8,484	15,060	9,270
総合公園多目的広場	12,470	7,246	6,183	6,119
総合公園芝生広場	7,495	5,035	6,310	4,860
総合公園テニスコート	3,736	4,405	5,737	7,265
高田球場	6,310	4,385	3,913	3,197
南山スポーツ公園	4,420	3,558	3,545	2,664
柿橋グラウンド	17,095	17,180	19,056	22,952
柿橋テニスコート	5,910	5,797	6,088	4,958
大原グラウンド	2,096	3,399	2,710	4,079
北山グラウンド	11,392	11,280	9,797	19,348
鴻巣グラウンド	4,637	6,844	4,477	4,141
橋爪弓道場	261	2,073	1,381	1,317
岩間総合運動公園	13,249	14,117	13,719	18,207
岩間海洋センター体育館	16,075	16,284	18,294	17,989
岩間海洋センタープール	2,359	3,127	2,674	2,841
岩間武道館	15,385	16,245	12,766	17,545
岩間工業団地テニスコート	1,565	1,578	1,478	2,118

資料：スポーツ振興課

■ 国・県・市指定文化財数

(平成20年1月1日現在、単位：件)

区分	国	県	市	合計	
有形文化財	建造物	3	2	11	16
	絵画	-	-	11	11
	彫刻	4	8	35	47
	工芸品	-	3	9	12
	書跡	-	3	-	3
	典籍	-	-	1	1
	古文書	-	-	1	1
	考古資料	-	-	3	3
	歴史資料	-	1	2	3
無形文化財	-	-	-	-	
民俗文化財	-	-	1	1	
文化財	-	-	3	3	
記念物	史跡	-	1	14	15
	天然記念物	1	2	18	21
合計	8	20	105	133	

資料：生涯学習課

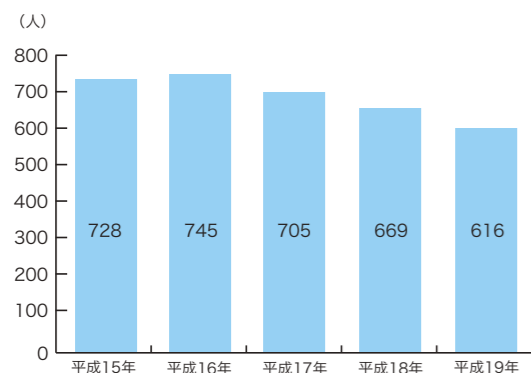
### ■ 基本検診等の受診率

(平成18年度)

区分	受診者(人)	受診率(%)
基本健康検診	10,655	44.16
胃がん検診	2,587	10.72
大腸がん検診	3,415	14.15
肺がん検診	10,459	43.35
子宮がん検診	1,595	14.48
乳がん検診	1,051	18.60

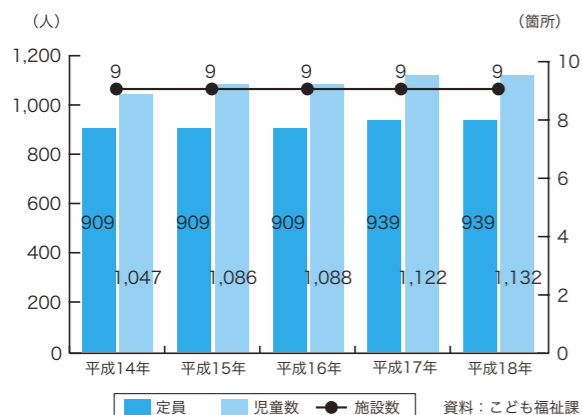
資料：健康増進課

### ■ 出生数の推移



資料：市民課

### ■ 保育所(園)入所児童数等の推移



資料：子ども福祉課

### ■ ごみ排出量の推移

区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度
可燃ごみ	21,752 t	22,305 t	22,437 t
不燃ごみ	944 t	943 t	900 t
粗大ごみ	357 t	549 t	1,118 t
有害ごみ	31 t	29 t	30 t
資源物	2,673 t	2,632 t	2,248 t
総量	25,757 t	26,458 t	26,733 t

資料：環境保全課

### ■ 国民年金加入状況

(平成18年度)

1号被保険者	任意加入者	3号被保険者	免除者数
15,065人	127人	6,126人	3,342人

資料：保険年金課

### ■ 国民健康保険加入状況

(平成18年度)

総人口・世帯		国民健康保険者数		加入割合	
世帯	人口※	世帯	被保険者数	世帯	被保険者
28,142世帯	81,489人	16,254世帯	34,054人	57.76%	41.79%

※住民基本台帳による 資料：保険年金課

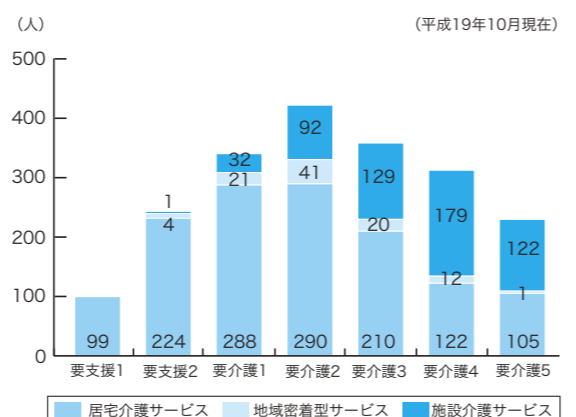
### ■ 医療施設数

(平成18年度)

病院	一般診療所	歯科診療所
6件	28件	33件

資料：健康増進課

### ■ 介護サービス受給者数



資料：高齢福祉課

### ■ 上水道の普及状況

区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度
給水件数	22,902件	23,378件	23,645件
給水人口	70,851人	71,591人	70,842人
普及率	86.4%	88.2%	86.9%

資料：水道課

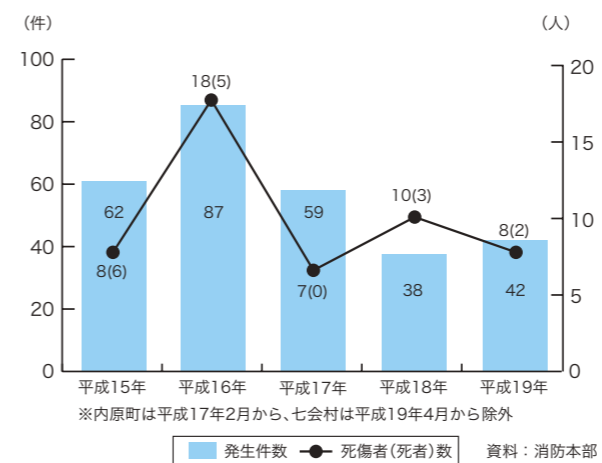
### ■ 市道の整備状況

(平成19年4月1日現在)

区分	路線数(本)	実延長(km)	改良済延長(km)	改良率(%)	舗装済延長(km)	舗装率(%)
1級市道	58	149.9	119.9	80.0	145.2	96.9
2級市道	54	90.7	56.4	62.2	87.6	96.6
その他	3,754	1,207.7	372.6	30.8	679.7	56.3
合計	3,866	1,448.4	548.9	37.9	912.5	63.0

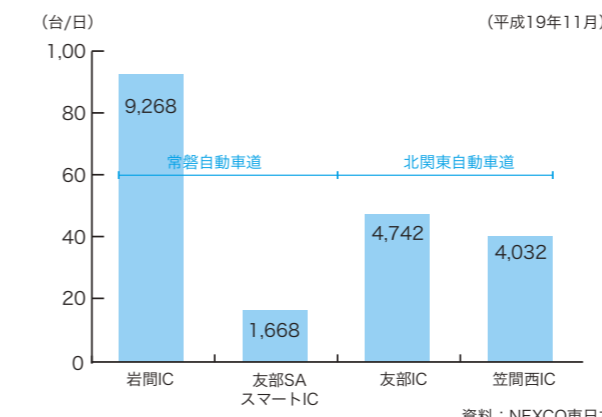
資料：道路整備課

### ■ 火災発生件数及び死傷者数



資料：消防本部

### ■ 高速道路市内インターチェンジ出入交通量



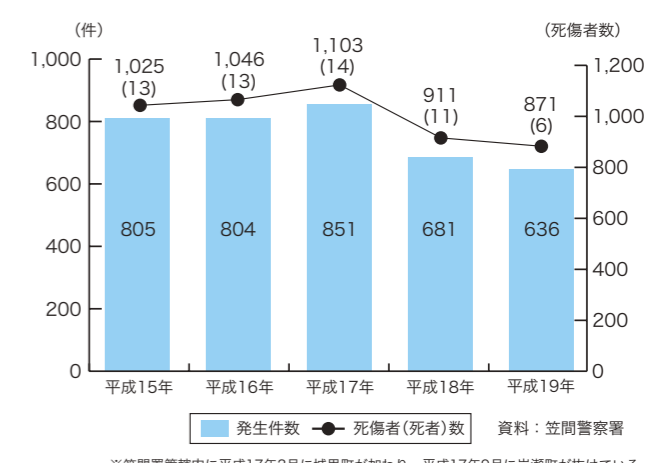
資料：NEXCO東日本

### ■ 主な公園

公園名称	面積	種別
笠間芸術の森公園	35.7(54.6)ha	都市公園
笠間市総合公園	23.5ha	都市公園
北山公園	48.9ha	その他の公園
あたご天狗の森(公園)	9.2ha	その他の公園
つつじ公園	6.9ha	その他の公園

※( )内の数値は、全体面積。 資料：都市計画課・商工観光課

### ■ 交通事故発生状況(笠間警察署管内)



資料：笠間警察署

※笠間署管内に平成17年2月に城里町が加わり、平成17年9月に岩瀬町が抜けている。

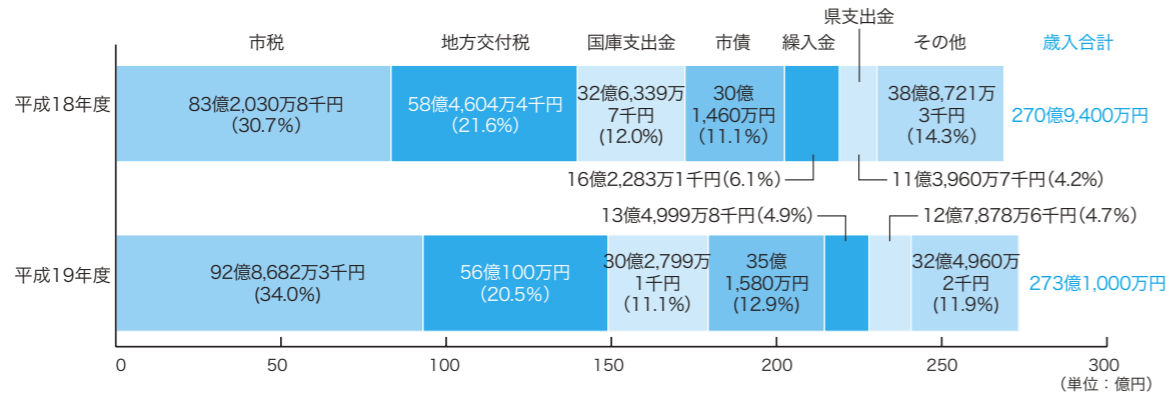
### ■ ブロードバンド利用可能世帯

		平成18年4月1日		平成18年10月16日		平成19年2月15日	
		ADSL	FTTH	ADSL	FTTH	ADSL	FTTH
提供エリア	世帯数	28,470	4,210	28,470	9,104	28,470	16,239
	率	100.00%	14.79%	100.00%	31.98%	100.00%	57.04%

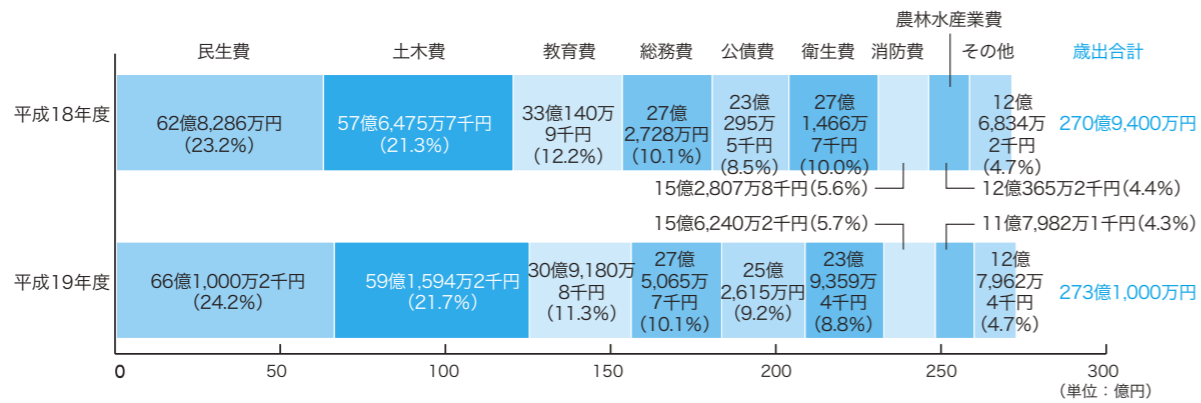
ADSL：アナログ電話回線による高速データ通信サービス  
FTTH：光ファイバーによる高速データ通信サービス

資料：町丁字別人口統計

■ 一般会計歳入当初予算の推移



■ 一般会計歳出当初予算の推移



■ 市民一人当たりに使われるお金 (平成19年度)

<p><b>民生費</b> 高齢者・障害者福祉対策や医療福祉費など</p> <p><b>81,002円</b></p>	<p><b>土木費</b> 市道の整備・補修や公共下水道の操出金など</p> <p><b>72,497円</b></p>	<p><b>教育費</b> 各小中学校や公民館・図書館の運営費など</p> <p><b>37,888円</b></p>
<p><b>総務費</b> 税金の賦課、戸籍や住民登録の経費、広報紙の発行など</p> <p><b>33,708円</b></p>	<p><b>公債費</b> 市債の元金・利子の返済</p> <p><b>30,957円</b></p>	<p><b>衛生費</b> 予防接種や各種健診、ごみ処理事業など</p> <p><b>29,332円</b></p>
<p><b>消防費</b> 消防団や防災施設整備費など</p> <p><b>19,146円</b></p>	<p><b>農林水産業費</b> 国・県事業の負担金や農業振興補助金など</p> <p><b>14,458円</b></p>	<p><b>その他</b> 議会費や商工費など</p> <p><b>15,681円</b></p>
<p><b>合計 334,669円</b></p>		

※平成19年3月1日現在の人口(住民基本台帳)81,603人で算出

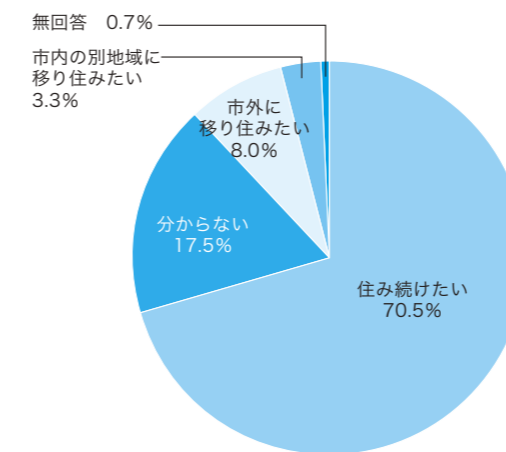
■ 沿革

	友部町	笠間市	岩間町
明治22年	宍戸町、大原村、北川根村、鯉淵村が町制施行	4月1日/笠間町として町制施行	岩間上郷村、岩間下郷村、泉村、福島村、市野谷村が合併(岩間村) 安居村、押辺村、土師村が合併(南川根村)
大正12年			岩間町となる
昭和29年			岩間町、南川根村が合併
昭和30年	1月15日/宍戸町、大原村、北川根村の3町村が合併し、友部町となる 3月31日/鯉淵村の一部を編入	2月11日/笠間町、大池田村、北山内村、南山内村が合併(笠間町)	
昭和31年			4月1日/友部町の一部広谷原を編入
昭和33年			2月25日/西茨城郡稲田町と合併 8月1日/笠間市として市制施行
平成18年	3月19日/笠間市、友部町、岩間町が合併し新生「笠間市」となる		

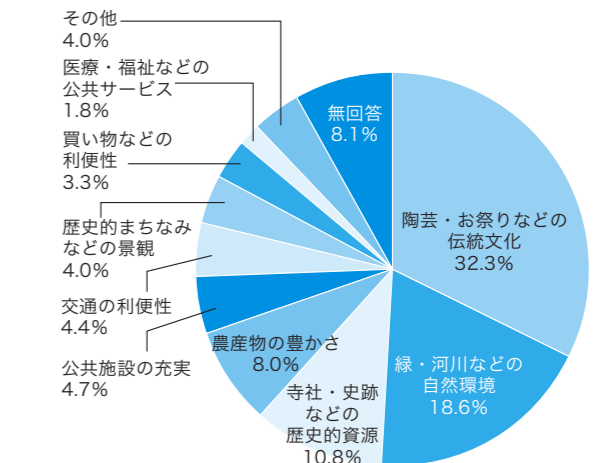
市民アンケート

※平成18年9月に5,000人にアンケートを実施(回答者数1,693人)

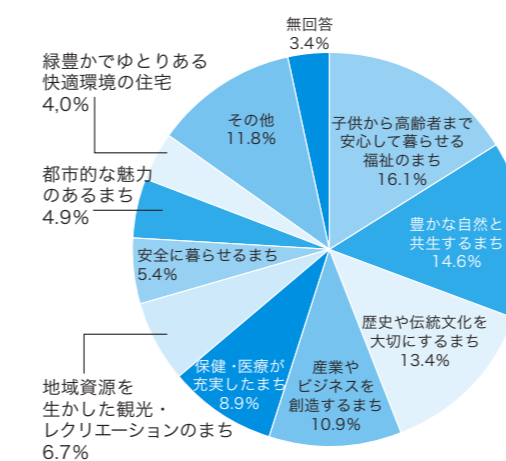
■ 本市への定住意向について



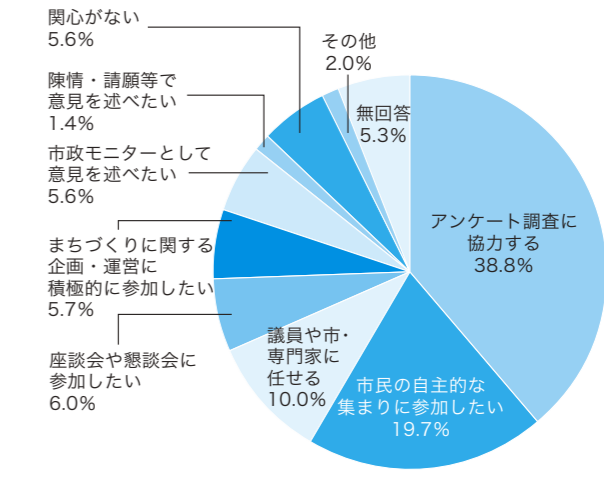
■ 本市の誇りについて



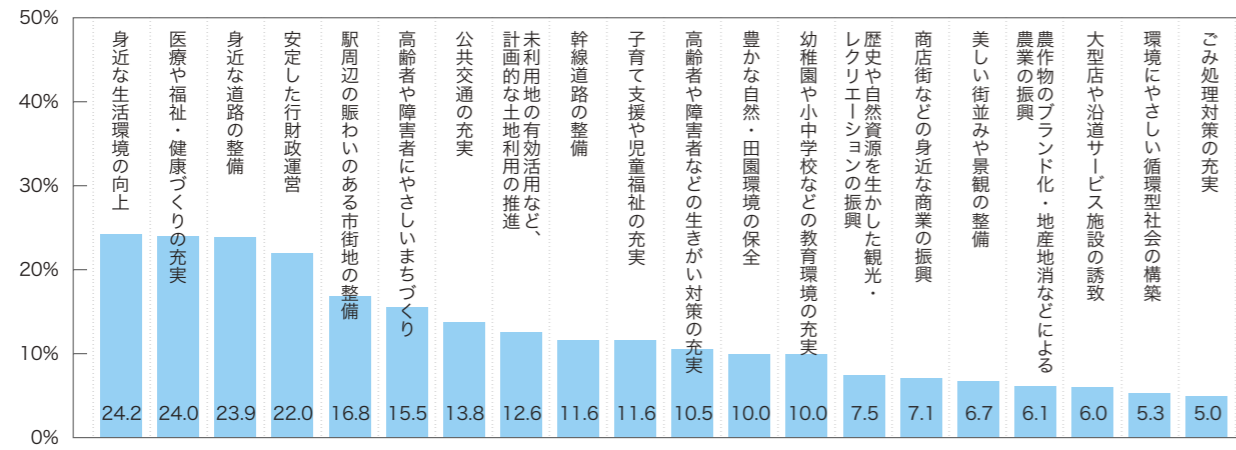
■ 本市の将来像について



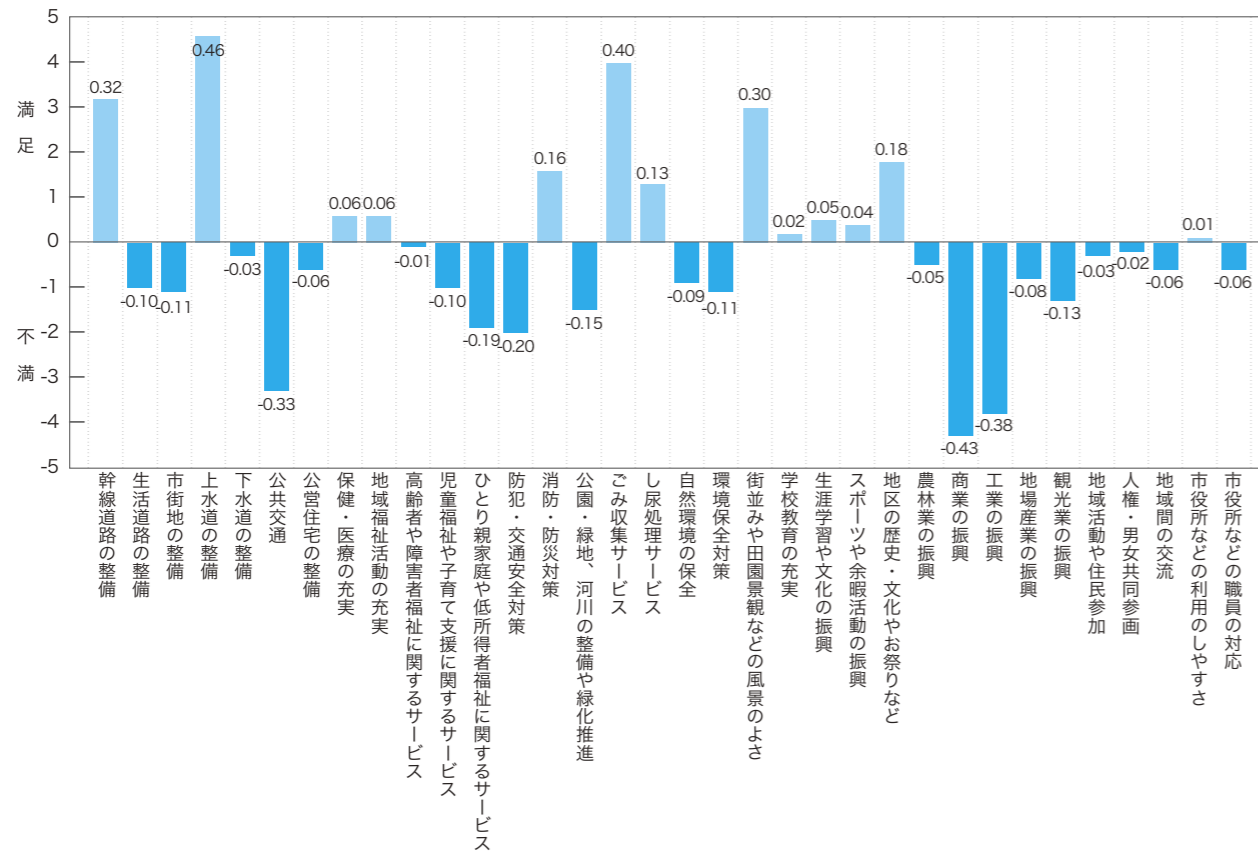
■ 市民の市政への参加意欲について



## ■ 本市が重点的に取り組んでいくべき施策について



## ■ 市民の身近な生活の満足度について



※5段階評価のそれぞれの評価標準を「満足」=2点、「どちらかといえば満足」=1点、「どちらともいえない」=0点、「どちらかといえば不満」=-1点、「不満」=-2点として各項目に対する評価を得点化し、平均値(加重平均値)を求めた。加重平均値が高いほどその項目に対する評価は高い。

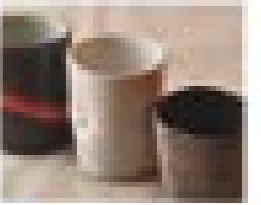
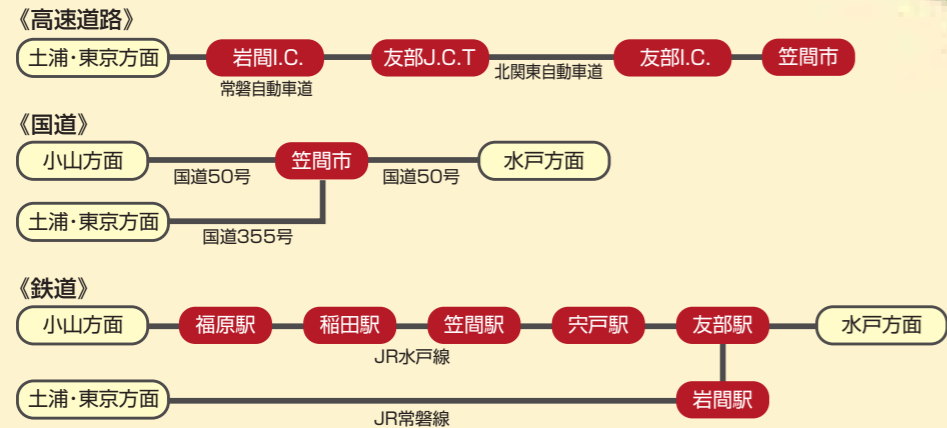
※資料：企画政策課

# KASAMA Illustration Map

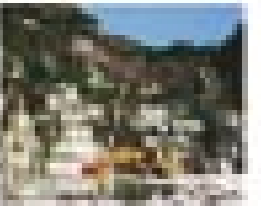
◎笠間市イラストマップ



## ◎笠間市へのアクセス



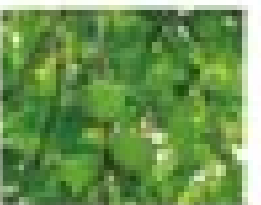
笠間焼



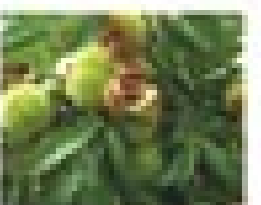
稲田みかげ石



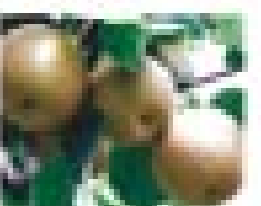
小菊



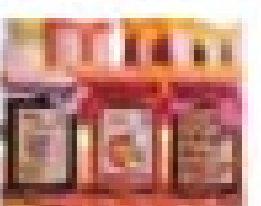
青梅



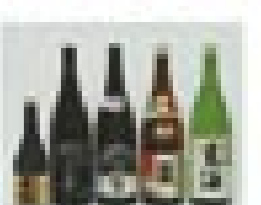
栗



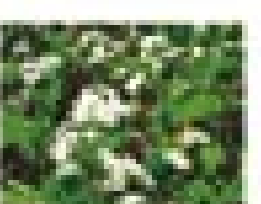
梨



手作りジャム



地酒



常陸秋そば



## 笠間市市勢要覧2008

発行日 平成20年4月  
発行 笠間市市長公室秘書課  
〒309-1792 茨城県笠間市中央三丁目2番1号  
TEL.0296-77-1101  
URL <http://www.city.kasama.lg.jp>

**Date of issue**  
April, 2008  
**Issue**  
Kasama City  
3-2-1, Chuo, Kasama-shi, Ibaraki, 309-1792, Japan  
TEL.0296-77-1101  
URL <http://www.city.kasama.lg.jp>